



消 防 年 報

平成 2 8 年版



熊谷桜堤

熊 谷 市 消 防 本 部

平成 2 9 年刊行

表紙の写真



熊谷桜堤

江戸時代から桜の名所として知られています。

平成2年3月3日に(財団法人)日本さくらの会から、由緒ある歴史と美しさを称えられ、『さくら名所100選』に選定されました。

毎年4月上旬に開かれるさくら祭には、約500本のソメイヨシノが2kmにおよぶ桜のトンネルをつくり、多くの人々を魅了します。

所在地 熊谷市河原町二丁目地先

は　じ　め　に

この消防年報は、平成28年中の消防業務及び平成29年4月1日現在の消防現勢について収録し、今後の消防行政の運営に資するとともに、当消防本部の消防現況を広く御理解いただくために編集したものです。

平成29年6月

熊谷市消防本部

熊 谷 市

市 章



熊谷の名を円形に図案化したもので、上部右が「ク」を、同左が「マ」を、全体で「谷」を表しています。

大正8年に、熊谷町の紋章として、一般に懸賞募集し、同11年7月から使用されたものです。

昭和8年4月1日の市制施行後、市の紋章として引き継がれ、平成17年10月1日の合併による新熊谷市においても引き継がれました。

シンボルマーク



熊谷市（「くま」の2文字）が限らない未来に向かって大きく飛躍している様子をデザイン化しています。


















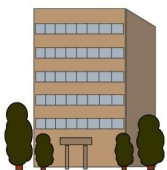


市の花	:	サクラ
市の木	:	ケヤキ
市の鳥	:	ヒバリ
市の魚	:	ムサシトミヨ

目 次

一目でわかる消防	1
熊谷市消防本部の沿革	2
◎ 組織・予算	
歴代消防長	1 6
消防組織表	1 7
消防配置図	1 8
消防通信系統図	1 9
消防本部事務分掌	2 0
消防署、分署事務分掌	2 2
現有人員・消防職員年齢状況	2 3
消防職員勤続年数状況・常備消防管内情勢	2 4
消防職員研修状況	2 5
消防吏員特殊技能その他資格取得者数	2 6
消防費予算	2 8
消防音楽隊	2 9
◎ 消防施設・機械	
消防本部、消防署、分署庁舎一覧表	3 0
消防ポンプ自動車等性能一覧表	3 1
主な救助用資器材の保有状況	3 5
通信施設	3 7
1 1 9 番通報受信件数・災害等自動案内装置利用件数	3 8
◎ 消防水利	
消防水利状況	3 9
署別消防水利状況	4 2
◎ 火災予防	
防火対象物数	4 3
消防同意件数	4 4
危険物の類別製造所等施設数	4 5

危険物の指定数量倍数別製造所等施設数	4 6
防火対象物別消防訓練実施状況	4 7
◎ 火災	
火災の発生状況	4 8
月別火災発生状況	4 9
署別火災発生状況	5 0
月別、分団別火災発生件数	5 1
月別、時刻別火災発生件数	5 2
損害額及び焼損面積区分による火災発生件数	5 3
出火原因別火災発生件数	5 4
曜日別火災発生件数・時刻別火災発生件数	5 5
火災発生覚知別件数・主なる火災・死者を伴った火災	5 6
◎ 救急・救助	
事故種別出動状況	5 7
事故種別署別出動状況	5 8
事故種別時刻別搬送人員	5 9
事故種別傷病程度別搬送人員	6 0
救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況	6 1
事故種別出動件数・程度別搬送人員	6 2
一日平均救急出動件数の年別比較・年齢別搬送人員	6 3
救急隊員の行った応急処置件数	6 4
救急事故覚知別状況・医療資器材の使用件数	6 5
救助出動状況	6 6
月別救助出動件数	6 7
事故種別発生場所別活動件数・事故種別出動車両等台数	6 8
◎ 消防団	
消防団組織表	6 9
消防団車庫一覧表	7 0
消防ポンプ自動車等性能一覧表	7 2
勤続年数状況・年齢状況	7 4

一目でわかる消防

管轄面積 P17  159.82km²	人口 (H29.4.1) P17  199,029人	世帯 (H29.4.1) P17  85,079世帯	消防費予算額 P28  2,758,941千円 平成29年度当初予算	消防署所 P17  消防本部 1 消防署 3 分署 3
消防職員 P23  定数 247人 実数 244人	消防車 P31~34  ポンプ車 11台	救急車 P31~34  救急車 7台	特殊車両 P31~34  はしご車 2台 救助工作車 2台 化学車 1台 指揮車 1台 支援車 1台	消防水利 P41  消防水利 消火栓 3,900基 防火水槽 1,379基 井戸 1,610基 その他 57基
火災 P48  火災件数 64件 (内訳) 建物 45件 車両 9件 その他 10件	出火原因 P54  1位 放火 19件 2位 こんろ 11件	火災による死傷者 P48  死者 2人 負傷者 9人	火災による損害額 P48  466,523千円	救急 P57  出動件数 9,103件 搬送人員 8,210人
救助 P66  出動件数 104件 救助人員 29人	119番通報受信件数 P38  119番固定電話 6,877件 119番携帯電話 5,052件 合計 11,929件	防火対象物 P43  防火対象物数 6,011棟	危険物施設 P45  危険物施設数 650施設 (内訳) 製造所 5施設 貯蔵所 412施設 取扱所 233施設	消防団 P69・74  分団数 34団 団員数 499人

熊谷市消防本部の沿革

昭和23年	3月	消防組織法の施行により熊谷市消防本部、消防署を設置 熊谷市長 鴨田宗一氏、消防長に就任
昭和30年	3月	消防本部庁舎を宮町二丁目137番地に竣工
昭和31年	3月	消防長に青木勝之助氏就任 玉井分所(現在の玉井分署)を開所
昭和33年	5月	熊谷市長に栗原正一氏就任
昭和36年	8月	南分所(現在の荒川分団車庫)を開所
昭和37年	5月	熊谷市長に黒田海之助氏就任
昭和42年	12月	妻沼町消防本部、消防署を設置
昭和43年	3月	消防長に神尾貞治氏就任
昭和47年	4月	熊谷市、妻沼町、大里村、江南村の1市1町2村により 熊谷地区消防組合を設立発足し、管理者に熊谷市長 黒田海之助氏就任 署所 1本部 1署 1分署 2出張所 車両 普通消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車 5台、屈折はしご車1台、救急車3台、指令車1台、 広報車1台、作業車1台、救助艇1艇 職員 113名(定員151名) 消防長に吉野利男氏就任
昭和47年	6月	職員を126名に増員
昭和47年	11月	妻沼分署を妻沼消防署に昇格
昭和47年	12月	消防本部に火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知 させるため、無線付指令車を配置
昭和48年	1月	職員を130名に増員 大里消防団北分団車庫竣工、同分団に消防車を配置
昭和48年	2月	南部地域の消防体制完備のため、大里出張所、江南出張所 を開所、両出張所に水槽付消防ポンプ自動車1台を配置、 職員各15名 妻沼消防団男沼分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和48年	3月	熊谷消防団大幡分団車庫竣工 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和48年	4月	職員を133名に増員
昭和48年	5月	職員を138名に増員
昭和48年	8月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和48年	12月	熊谷消防団石原分団車庫竣工
昭和49年	3月	職員を150名に増員 熊谷消防団久下分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新 科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため熊谷消防署に化学車を配置 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年	5月	消防本部、消防署の組織改革を行い、責任体制を明確化し、本部に総務課3係、予防課2係、消防署に副署長を置き、警防係制に改革
昭和49年	11月	大型地震防災計画の一環として、熊谷消防署及び各出張所(荒川、玉井、大里、江南)に小型動力ポンプ各1台を配置 熊谷消防団成田分団及び江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和49年	12月	高層建築物災害に対処するため、熊谷消防署に35m級はしご付消防車を配置 増加する救急業務の万全を期するため、熊谷消防署に救急車(3B型)を配置 職員定数を166名に改正
昭和50年	2月	江南消防団南分団車庫竣工
昭和50年	3月	熊谷消防団成田分団車庫竣工
昭和50年	4月	消防長吉野利男氏 埼玉県消防長会会長に就任
昭和50年	6月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用として消防本部にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和50年	10月	妻沼消防署に救急車(2B型)を配置

昭和50年11月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置(埼玉県農業共済連 寄贈) 妻沼消防団妻沼分団第1部車庫竣工
昭和50年12月	火災等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため、 妻沼消防署に無線付指令車を配置
昭和51年 1月	熊谷消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置
昭和51年 3月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新 交通事故、労働災害、中高層建築物等に伴う複雑多様化 による各種災害に万全を期するため、熊谷消防署に消防 ポンプ付救助工作車を配置
昭和51年 7月	職員を151名に増員
昭和51年 9月	熊谷消防署に火災問合せ専用着信電話装置(3回線)を設置
昭和51年10月	消防本部に防災無線電話を設置
昭和52年 2月	大里消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和52年 3月	熊谷消防団別府分団車庫竣工 建築物の中高層化によるビル火災や爆発事故等複雑多様化 による災害からの人命救助等に対処するため、庁舎予定地に 訓練塔(3塔)を設置
昭和52年 5月	火災問合せ専用着信電話装置(2回線)増設
昭和52年 8月	予防査察、火災警戒パトロール、水利調査及び火災調査用 として熊谷消防署にパトロール車(軽四輪)2台を配置
昭和52年12月	大型地震防災計画の一環として、妻沼消防署に小型動力 ポンプを配置
昭和53年 2月	消防本部に広報車(普通車)を配置 妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和53年 3月	熊谷消防団星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和53年 4月	職員を153名に増員
昭和53年 7月	熊谷消防団上石分団車庫竣工
昭和54年 1月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和54年 2月	熊谷消防署玉井出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新
昭和54年 5月	火災問合せ専用着信電話装置(5回線)を増設

昭和54年 8月	熊谷消防団三尻分団車庫竣工
昭和54年10月	熊谷消防団筑波分団車庫竣工
昭和54年12月	市街地特有の密集建物火災に対処するために、動く貯水槽として、また、大震災時における住民への飲料給水車として熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(7,300ℓ)を配置
昭和55年 1月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和55年 3月	熊谷消防団大幡分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団太井分団車庫竣工 妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新 庁舎予定地に高圧ガス容器貯蔵庫を設置
昭和55年 5月	職員を159名に増員
昭和55年 7月	消防本部に作業車(車両修理用工具一式積載)を配置
昭和55年 8月	熊谷消防団団本部分団にワゴン型普通車を配置
昭和55年10月	熊谷市建築課に新庁舎建設設計業務を委託
昭和56年 1月	熊谷消防団各分団に消火及び人命救助活動に使用するため、空気呼吸器8型を配置
昭和56年 2月	熊谷消防署の救急車(3B型)を更新
昭和56年 3月	庁舎建設予定地に書類倉庫2棟を建設 熊谷消防団大麻生分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団中条分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和57年 3月	熊谷消防署荒川出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団奈良分団車庫竣工
昭和57年 4月	職員を164名に増員
昭和57年 5月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長増田敏男氏就任
昭和57年 6月	消防長に門倉恒一氏就任
昭和57年 8月	熊谷地区消防組合庁舎建設着工
昭和57年11月	江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和57年12月	職員定数を188名に改正
昭和58年 2月	熊谷消防署に救急車(2B型)を配置
昭和58年 3月	熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新

昭和58年	4月	職員を172名に増員
昭和58年	6月	熊谷地区消防組合庁舎竣工
昭和58年	8月	熊谷地区消防組合新庁舎業務開始 消防本部、消防署の組織改革を行い、本部に総務課2係、 予防課2係、警防課3係を置き、旧本部庁舎を熊谷消防署 中央分署として開署
昭和58年	9月	通信指令室に消防救急指令装置B型を配置 119番回線 容量48回線、実装8回線 指令回線 容量48回線、実装6回線 無線設備 基地局4 市町村波 150.31MHZ 県内波 148.29MHZ 全国波 150.73MHZ 救急(復信)波 147.50MHZ 143.50MHZ 総合表示盤 ワンタッチ回路 100か所 電子式交換機 局線容量 24回線、実装7回線 内線容量 96回線、実装43回線 通信指令室に地図検索装置を配置 熊谷消防署及び大里出張所に救助用ボートを配置
昭和58年	11月	妻沼消防団長井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和59年	2月	熊谷消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和59年	3月	熊谷消防署に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を配置 熊谷消防団中条分団車庫及び佐谷田分団車庫竣工
昭和59年	4月	職員を177名に増員
昭和59年	6月	江南出張所に救助用ボートを配置
昭和59年	7月	荒川出張所に折たたみ式アルミボート(船外機付)を配置 熊谷消防署の査察車(軽四輪)2台を更新
昭和59年	10月	熊谷消防署に広報装置付四輪駆動車を配置(ホテルサンルート 熊谷 寄贈) 熊谷消防署に普通消防ポンプ自動車を配置 江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署にボートトレーラを配置

昭和60年	3月	熊谷消防団荒川分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署の救急車(2B型)を更新 妻沼消防団妻沼分団第1部及び太田分団の普通消防ポンプ 自動車を更新 熊谷消防団肥塚分団車庫竣工
昭和60年	4月	消防長に中村和夫氏就任
昭和60年	5月	熊谷消防署に広報装置付普通車を配置(株式会社八木橋 寄贈)
昭和60年	7月	熊谷消防署大里出張所及び江南出張所に査察車(軽四輪)を 配置
昭和60年	11月	組合構成市町村の江南村、町制を施行
昭和60年	12月	熊谷消防署にドクターズカーを配置(日本赤十字社埼玉県 支部 無償譲渡)
昭和61年	3月	熊谷消防署中央分署の救急車(2B型)を更新 熊谷消防署大里出張所及び江南出張所の水槽付消防ポンプ 自動車を更新 妻沼消防団男沼分団第1部及び秦分団の普通消防ポンプ 自動車を更新 江南消防団北分団車庫竣工
昭和61年	7月	職員を178名に増員
昭和61年	8月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長小林一夫氏就任
昭和61年	10月	熊谷消防団上石分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和62年	4月	職員を179名に増員
昭和62年	8月	熊谷消防署玉井出張所及び荒川出張所の査察車(軽四輪)を 更新
昭和62年	10月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
昭和63年	3月	熊谷消防署江南出張所及び大里出張所に救急車(2B型)を 配置(江南救急車シャシー日本損害保険協会 寄贈)
昭和63年	4月	機構改革により中央分署を中央消防署に、各出張所(荒川、 玉井、江南、大里)を分署に改変 消防長に多田浩氏就任
昭和63年	8月	消防本部及び熊谷消防署の査察車(軽四輪)各1台を更新

昭和 63 年 10 月	熊谷消防団奈良、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 元年 1 月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 元年 2 月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成 元年 3 月	妻沼消防署の救急車を更新 妻沼消防団太田分団車庫竣工
平成 元年 4 月	熊谷地区消防組合章を制定
平成 元年 7 月	消防本部、中央及び妻沼消防署の査察車(軽四輪)各 1 台を更新
平成 元年 8 月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成 元年 10 月	熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 2 年 2 月	熊谷消防署の救助工作車を更新
平成 2 年 3 月	熊谷消防団団本部分団待機室竣工 妻沼消防団長井分団車庫及び男沼分団車庫竣工 江南消防団南分団車庫竣工、同分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 2 年 6 月	中央消防署の指令車を更新
平成 2 年 8 月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新
平成 2 年 10 月	妻沼消防団妻沼分団第 2 部の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 2 年 11 月	妻沼消防団秦分団車庫竣工
平成 3 年 2 月	妻沼消防署庁舎竣工
平成 3 年 3 月	妻沼消防団妻沼分団第 2 部車庫竣工 妻沼消防団男沼分団第 2 部の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署玉井分署庁舎竣工
平成 3 年 4 月	熊谷消防署玉井分署に救急車(2B 型)を配置 職員を 186 名に増員 職員定数を 214 名に改正
平成 4 年 2 月	熊谷消防団吉岡分団車庫竣工
平成 4 年 3 月	熊谷消防団成田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 4 年 4 月	職員を 196 名に増員
平成 4 年 10 月	熊谷消防署のスノーケル車を 35m のはしご付消防車に更新し、熊谷消防署玉井分署に配置

平成	4年	12月	熊谷消防署玉井分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	1月	熊谷消防団佐谷田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	4月	職員を203名に増員
平成	5年	8月	妻沼消防署の指令車を更新
平成	5年	9月	熊谷消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	5年	11月	熊谷消防署玉井分署に普通消防ポンプ自動車を配置
平成	6年	1月	妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防署の化学車を更新し、玉井分署に配置
平成	6年	2月	熊谷消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新 (三国コカ・コーラボトリング株式会社 寄贈)
平成	6年	4月	消防長に橋本澄男氏就任 職員を212名に増員 職員定数を247名に改正
平成	6年	8月	熊谷消防署の指令車を更新
平成	6年	9月	熊谷消防署に赤バイ2台を配置(江田組株式会社 寄贈)
平成	6年	10月	中央消防署の救急車を高規格救急車に更新
平成	6年	11月	中央消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成	6年	12月	中央消防署のはしご付消防自動車(35m)及び普通消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成	7年	1月	熊谷消防団大幡分団及び星宮分団の普通消防ポンプ自動車を更新 大里消防団中央分団及び南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	7年	4月	職員を222名に増員
平成	7年	6月	消防本部の査察車(軽四輪)3台、熊谷消防署の広報車及び妻沼消防署の救助用ボートを更新
平成	7年	7月	消防本部の装備車を更新
平成	7年	11月	熊谷消防団太井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成	8年	2月	熊谷消防署のドクターズカー及び中央消防署の救急車(2B型)を更新

平成 8年 3月	中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 大里消防団 竿頭綬を受章
平成 8年 4月	消防長に堀越満氏就任 本部に通信指令課を設置 職員を 233 名に増員
平成 8年 9月	熊谷消防署の広報車 1 台、熊谷消防署江南分署及び中央 消防署大里分署の査察車各 1 台を更新
平成 8年 10月	消防職員委員会を設置 アポロキャップ型略帽を採用
平成 9年 1月	熊谷消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 9年 2月	熊谷消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ 自動車を更新 熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の救急車 (2B 型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署玉井分署に救助工作車を配置
平成 9年 3月	大里消防団北分団車庫竣工 通信指令課に消防緊急通信指令施設Ⅱ型を配置 119 番回線 容量 50 回線、実装 21 回線 指令回線 容量 40 回線、実装 7 回線 無線設備 基地局 1 局(12 装置) 市町村波 150.31MHZ 県内波 148.29MHZ 全国波① 150.73MHZ " ② 148.75MHZ " ③ 154.15MHZ 救急(復信)波 147.50MHZ 143.50MHZ デジタル交換機 局線容量 16 回線、実装 9 回線 内線容量 72 回線、実装 68 回線
平成 9年 4月	職員を 244 名に増員
平成 10年 2月	妻沼消防団妻沼分団第 1 部車庫竣工 熊谷消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新

平成10年	3月	妻沼消防署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新
平成10年	4月	携帯電話からの119番通報受信転送システム開始
平成10年	9月	熊谷消防署玉井分署及び中央消防署荒川分署の査察車各1台を更新
平成11年	1月	熊谷消防団中央分団及び江南消防団中央分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成11年	2月	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成11年	3月	江南消防団 竿頭綬を受章
平成11年	4月	消防長に山川幸男氏就任
平成11年	8月	熊谷消防署の中型輸送車を更新
平成11年	10月	消防本部に8人乗りワゴン車を配置(故廣田雪枝氏 寄贈)
平成12年	2月	熊谷消防署玉井分署の救急車(2B型)を高規格救急車に更新 熊谷消防署の小型動力ポンプ付水槽車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成12年	5月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団荒川分団、妻沼消防団長井分団及び江南消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成12年	8月	消防本部の査察車を更新
平成12年	10月	熊谷消防署の資機材運搬車を更新 中央消防署及び妻沼消防署の査察車を更新
平成13年	4月	職員を245名に増員
平成13年	6月	熊谷消防団上石分団、妻沼消防団妻沼分団第1部及び太田分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成13年	10月	熊谷地区消防音楽隊発足
平成13年	11月	中央消防署指令車を更新
平成14年	4月	組合構成市町村の大里村、町制を施行
平成14年	8月	熊谷地区消防組合管理者に熊谷市長富岡清氏就任
平成14年	10月	中央消防署の高規格救急車を災害対応特殊救急自動車に更新
平成15年	1月	熊谷消防団三尻分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年	2月	妻沼消防団秦分団及び男沼分団第1部の普通消防ポンプ自動車を更新

平成15年 4月	消防長に福島正美氏就任
平成15年 7月	熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成15年10月	熊谷消防団奈良分団、別府分団及び大里消防団北分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成15年11月	熊谷消防署の普通消防ポンプ自動車を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新
平成16年10月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成17年 3月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷消防団吉岡分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年 4月	消防長に中島裕一氏就任 熊谷消防署に指揮隊を設置
平成17年 9月	江南消防団南分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成17年10月	組合構成市町の熊谷市、大里町、妻沼町が合併(廃置分合) により新熊谷市誕生 熊谷消防署の救助工作車を更新
平成18年10月	警防課に指揮隊車を配置
平成18年11月	熊谷消防団石原分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成19年 2月	組合構成市町(熊谷市、江南町)の廃置分合により熊谷地区 消防組合が解散 熊谷市消防本部並びに熊谷消防署、熊谷消防署玉井分署、 熊谷消防署江南分署、中央消防署、中央消防署荒川分署、 中央消防署大里分署及び妻沼消防署を設置 職員定数 247 名 消防長に中島裕一氏就任 熊谷消防団及び江南消防団を統合し、熊谷市消防団を設置 団員定数 513 名
平成20年 1月	中央消防署大里分署、妻沼消防署の高規格救急自動車を更新 熊谷市消防団成田分団、佐谷田分団、弥藤吾分団、小島分団 の普通消防ポンプ自動車を更新
平成20年 2月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新
平成20年 3月	予防課、警防課の査察車を更新

平成20年 4月	消防長に松葉一三氏就任 職員を246名に増員 団員定数を528名に改正 女性消防団員を17名採用
平成20年 9月	水難救助に対応するため妻沼消防署に水上バイクを配置
平成20年10月	中央消防署の救急自動車(2B型)を高規格救急自動車に更新 熊谷市消防団本部女性小隊車両(可搬ポンプ付)を配置
平成20年12月	熊谷消防署玉井分署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成21年 1月	熊谷消防署江南分署の高規格救急自動車を更新 第1回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成21年 3月	消防本部の指令車を更新 警防課の査察車を更新し、装備車を多目的車として更新 熊谷市消防団肥塚分団の普通消防ポンプ自動車を更新 指令課に高機能消防指令センターを更新整備 主な装置 ・メール119番、FAX119番、駆け込み119番受付装置 ・発信地表示システム ・災害情報表示装置 ・消防情報支援システム ・車両動態位置管理装置 ・自動出動指定装置 ・Eメール災害情報配信システム ・EPVシステム
平成21年10月	中央消防署及び妻沼消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成21年12月	中央消防署の高規格救急自動車を更新 中央消防署新庁舎の基本設計を実施
平成22年 1月	中央消防署新庁舎建設予定地の地質調査を実施
平成22年 2月	熊谷市消防団筑波分団の水槽付消防ポンプ自動車を普通消防ポンプ自動車に更新 熊谷市消防団大里中央分団及び大里南分団の普通消防ポンプ自動車を更新 消防総務課に研修車(天然ガス車)を配置 第2回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成22年 3月	消防本部の空気ボンベ充填庫整備

平成 22 年	4 月	消防長に新井義一氏就任 職員を 247 名に増員
平成 23 年	2 月	第 3 回消防音楽隊定期演奏会を開催 熊谷消防署の高規格救急自動車を更新
平成 23 年	3 月	熊谷消防署玉井分署のはしご付消防自動車を先端屈折式 はしご車 (30m) に更新 中央消防署荒川分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 熊谷市消防団大幡分団、星宮分団、太井分団の普通消防 ポンプ自動車を更新 熊谷消防署に支援車を配置 (総務省消防庁 貸与) 東日本大震災に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成 23 年	4 月	消防長に須賀忠氏就任
平成 23 年	10 月	行田市と消防本部指令センターで消防通信指令事務の共同 運用を開始
平成 23 年	12 月	熊谷市消防団玉井分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 24 年	2 月	熊谷消防署の指令車を更新 第 4 回消防音楽隊定期演奏会 (音楽隊発足 10 周年記念) を 開催 熊谷消防署玉井分署の救助工作車を更新
平成 24 年	3 月	熊谷市消防団大麻生分団及び中条分団の普通消防ポンプ 自動車を更新
平成 24 年	11 月	消防本部に救急指導車を配置 (故野坂礼子氏 寄贈)
平成 25 年	1 月	熊谷市消防団久下分団の普通消防ポンプ自動車を更新
平成 25 年	2 月	第 5 回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成 25 年	3 月	中央消防署開署
平成 25 年	4 月	中央消防署荒川分署を廃止し中央消防署に統合 熊谷消防署玉井分署に中央消防署の水槽付消防ポンプ 自動車を配置替 中央消防署に熊谷消防署玉井分署の救助工作車を配置替
平成 25 年	12 月	熊谷消防署玉井分署の化学車を更新 熊谷市消防団中央分団及び江南中央分団の普通消防ポンプ 自動車を更新

平成26年	2月	第6回消防音楽隊定期演奏会を開催 妻沼消防署の指令車を更新
平成26年	3月	熊谷消防署江南分署及び中央消防署大里分署の査察車を更新
平成26年	4月	消防長に木村和行氏就任
平成26年	12月	熊谷消防署玉井分署の高規格救急自動車を更新
平成27年	1月	妻沼消防署の普通消防ポンプ自動車を更新
平成27年	2月	第7回消防音楽隊定期演奏会を開催
平成27年	3月	熊谷消防署玉井分署及び中央消防署の査察車を更新 指令センターに消防救急デジタル無線を整備 主な装置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空中線柱 ・ 空中線共用器 ・ 受令機 ・ 基地局無線設備 ・ 車載無線機 ・ 携帯無線機 ・ 可搬型無線装置
平成27年	4月	警防課から熊谷消防署に指揮係を配置替
平成27年	9月	関東・東北豪雨に緊急消防援助隊埼玉県隊として出動
平成27年	10月	予防課の査察車を更新（熊谷市防火安全協会 寄贈）
平成27年	11月	中央消防署大里分署及び妻沼消防署の高規格救急自動車を更新
平成27年	12月	熊谷消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 消防音楽隊の制服を更新 熊谷市消防団に消防デジタル無線受令機及びデジタル式 トランシーバーを整備
平成28年	2月	第8回消防音楽隊定期演奏会（熊谷市誕生10周年記念）を 開催
平成29年	2月	第9回消防音楽隊定期演奏会を開催 熊谷消防署江南分署及び中央消防署の高規格救急車を更新
平成29年	3月	熊谷消防署の査察車を更新 中央消防署大里分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成29年	4月	消防長に宮本貢朗氏就任

組織・予算



聖天山歓喜院において文化財防火デー火災防御演習

歴代消防長

氏名	在任期間	備考
鴨田 宗一	昭和 23 年 3 月 ~ 昭和 31 年 3 月	市消防本部
青木 勝之助	昭和 31 年 3 月 ~ 昭和 43 年 3 月	〃
神尾 貞治	昭和 43 年 3 月 ~ 昭和 47 年 3 月	〃
吉野 利男	昭和 47 年 4 月 ~ 昭和 57 年 4 月	組合消防本部
門倉 恒一	昭和 57 年 6 月 ~ 昭和 60 年 3 月	〃
中村 和夫	昭和 60 年 4 月 ~ 昭和 63 年 3 月	〃
多田 浩	昭和 63 年 4 月 ~ 平成 6 年 3 月	〃
橋本 澄男	平成 6 年 4 月 ~ 平成 8 年 3 月	〃
堀越 満	平成 8 年 4 月 ~ 平成 11 年 3 月	〃
山川 幸男	平成 11 年 4 月 ~ 平成 15 年 3 月	〃
福島 正美	平成 15 年 4 月 ~ 平成 17 年 3 月	〃
中島 裕一	平成 17 年 4 月 ~ 平成 19 年 2 月	〃
中島 裕一	平成 19 年 2 月 ~ 平成 20 年 3 月	市消防本部
松葉 一三	平成 20 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月	〃
新井 義一	平成 22 年 4 月 ~ 平成 23 年 3 月	〃
須賀 忠	平成 23 年 4 月 ~ 平成 26 年 3 月	〃
木村 和行	平成 26 年 4 月 ~ 平成 29 年 3 月	〃
宮本 貢朗	平成 29 年 4 月 ~	〃

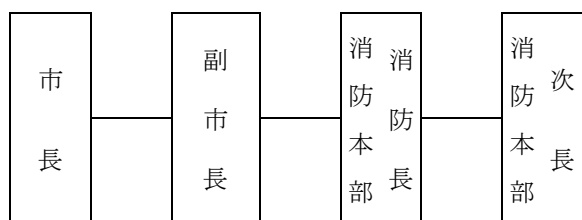
消 防 組 織 表

面 積 1 5 9 . 8 2 km²

世 帶 8 5 , 0 7 9 世帶

人 口 1 9 9 , 0 2 9 人

(平成29年4月1日現在)



消防総務課		総務係
		職員係
予防課		予防係
		保安係
		査察指導係
警防課		警防係
		消防団係
		救急係
指令課	第一部	指令係
	第二部	指令係

熊谷消防署	予防係		
	第一部	指揮係	
		消防係	
		救助係	
	第二部	指揮係	
		消防係	
		救助係	
	玉井分署	第一部	消防第一係
			消防第二係
			救急係
		第二部	消防第一係
			消防第二係
救急係			
江南分署	第一部	消防係	
		救急係	
	第二部	消防係	
		救急係	

中央消防署	予防係		
	第一部	消防第一係	
		消防第二係	
		救助係	
		救急係	
	第二部	消防第一係	
		消防第二係	
		救助係	
		救急係	
	大里分署	第一部	消防係
			救急係
		第二部	消防係
救急係			

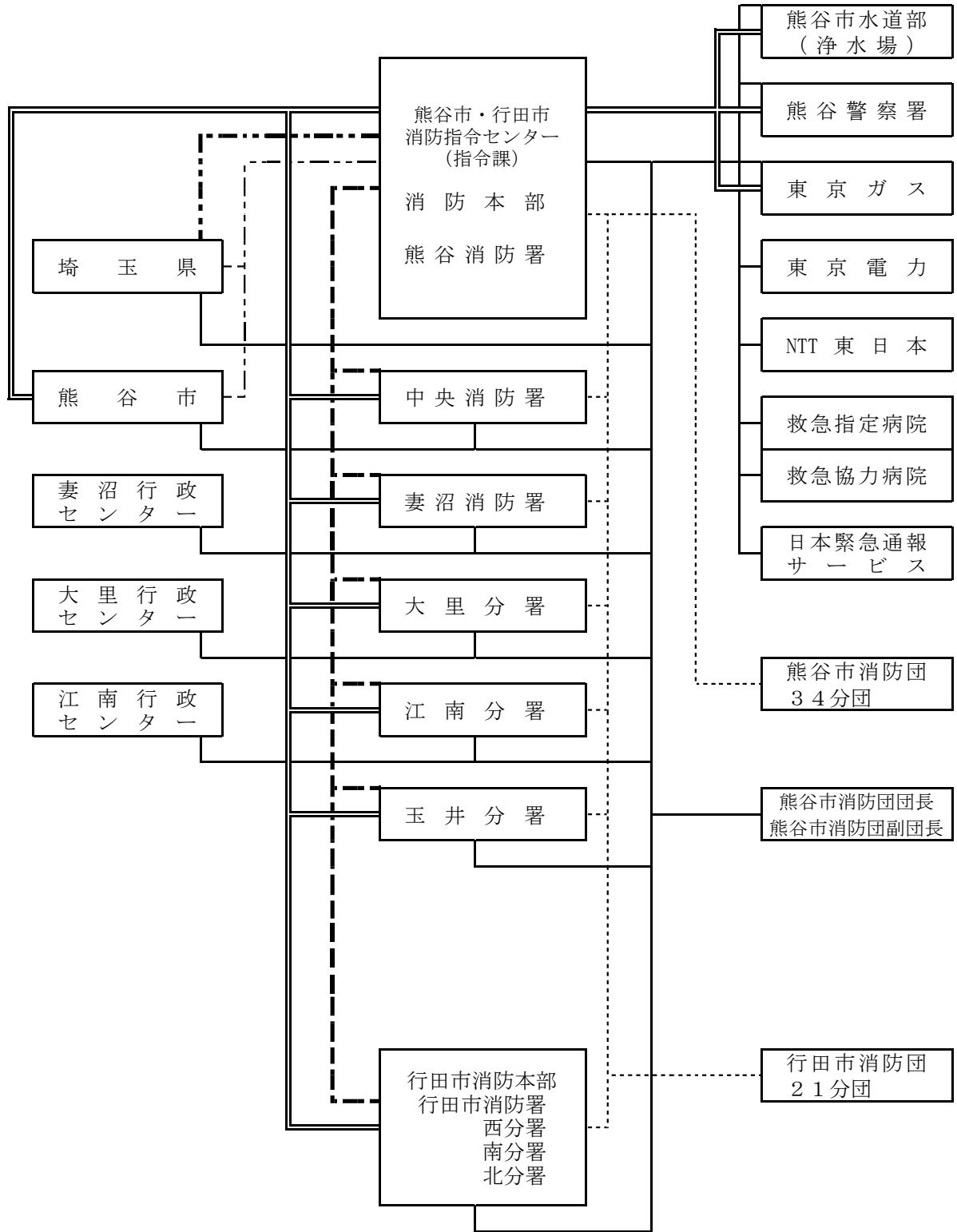
妻沼消防署	予防係	
	第一部	消防第一係
		消防第二係
		救急係
	第二部	消防第一係
		消防第二係
救急係		

消防配置図



消防通信系統図

- ==== 専用電話 - - - - - 消防無線（傍受）
- 加入電話 - · - · - 防災無線
- · - · - 消防無線 · - - - - 衛星回線



消 防 本 部 事 務 分 掌

消 防 総 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防の総合企画及び調整に関すること。 2 渉外及び儀式に関すること。 3 表彰に関すること。 4 公印の管理に関すること。 5 文書の收受及び管理に関すること。 6 消防が所有する情報の公開及び個人情報の保護に関すること。 7 消防音楽隊に関すること。 8 特命事項の調査及び研究に関すること。 9 催し物又は各種会議の開催及び調整に関すること。 10 消防長会に関すること。 11 消防年報の編集発行及び消防広報に関すること。 12 請願及び陳情並びに相談等の受付及びその連絡調整に関すること。 13 職員の任用、分限、懲戒及び服務に関すること。 14 職員の衛生管理に関すること。 15 職員の被服貸与に関すること。 16 職員の給料、手当及び公務災害補償に関すること。 17 職員の消防に関する研修計画の策定及び実施に関すること。 18 消防職員委員会に関すること。 19 予算要望の取りまとめに関すること。 20 物品の経理及び保管に関すること。 21 消防長の権限に属する例規類の制定及び改廃に関すること。 22 消防長の権限に属する訓令、通達、指令に関すること。 23 消防情報システムに係る総合的な企画及び調整に関すること。 24 他の課に属さない事項の処理に関すること。 25 本部内の連絡調整に関すること。 26 課の庶務に関すること。
予 防 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災予防の企画に関すること。 2 予防広報に関すること。 3 屋外の火災予防措置命令に関すること。 4 防火協力団体に関すること。 5 防火対象物の査察及び違反処理に関すること。 6 建築許可等の同意に関すること。 7 防火管理に関すること。 8 危険物等の規制に関すること。 9 危険物製造所等の査察及び違反処理に関すること。 10 消防用設備等（特殊消防用設備等）の設置の指導に関すること。 11 熊谷市火災予防条例（平成18年条例第184号）に関すること。

<p>予 防 課</p>	<p>12 液化石油ガス、産業廃棄物、防災処理等の許可等に係る意見書等の交付に関する こと。 13 火薬類取締法（昭和25年法律第143号）及び火薬類取締法施行規則（昭和2 5年通商産業省令第88号）に基づく事務に関すること。 14 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）に基づく事務に関すること。 15 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和42年法律第1 49号）に基づく事務に関すること。 16 消防署の予防事務の指導に関すること。 17 その他の予防業務に関すること。 18 課の庶務に関すること。</p>
<p>警 防 課</p>	<p>1 警防業務の総括に関すること。 2 消防機械器具の整備保全及び配置に関すること。 3 消防水利に関すること。 4 公有自動車共済事務に関すること。 5 消防安全管理に関すること。 6 安全運転管理に関すること。 7 開発行為に伴う消防上の指導に関すること。 8 消防相互応援及び広域応援に関すること。 9 火災警報の発令に関すること。 10 救急業務の企画立案に関すること。 11 救急高度化事業の推進に関すること。 12 医療機関との連絡調整に関すること。 13 メディカルコントロール協議会に関すること。 14 救急隊員の教育訓練及び指導に関すること。 15 患者搬送事業の指導及び認定に関すること。 16 応急手当の指導普及に関すること。 17 消防団に関すること。 18 団員に関すること。 19 消防協会に関すること。 20 消防連絡協議会に関すること。 21 庁舎及び構内の営繕に関すること。 22 課の庶務に関すること。</p>
<p>指 令 課</p>	<p>1 出動指令及び転戦指令に関すること。 2 消防緊急通信指令施設の運用及び維持管理に関すること。 3 消防無線の維持管理に関すること。 4 熊谷市・行田市消防通信指令事務協議会に関すること 5 通信技術の指導に関すること。</p>

指 令 課	6	災害情報収集及び活動支援情報の伝達に関すること。
	7	口頭指導プロトコールに関すること。
	8	気象観測業務に関すること。
	9	埼玉県防災行政無線に関すること。
	10	衛星通信システムに関すること。
	11	緊急通信システムに関すること。
	12	課の庶務に関すること。

消 防 署 、 分 署 事 務 分 掌

消防署、分署の事務分掌は、水火災の警戒、鎮圧及び救助救急活動に関する事務のほか、次のとおりとする。

消 防 署	1	公印の保管に関すること。
	2	火災予防に関すること。
	3	防火対象物の査察及び違反処理に関すること。
	4	防火管理に関すること。
	5	消防用設備等（特殊消防用設備等）の検査及び検査済証の交付に関すること。
	6	消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検報告に関すること。
	7	消防法令に適合している旨の通知書等の交付に関すること。
	8	熊谷市火災予防条例（平成18年条例第184号）に関すること。
	9	り災証明及び救急搬送証明に関すること。
	10	圧縮アセチレンガス等の届出等に関すること。
	11	消防水利の保全調査に関すること。
	12	消防団、自衛消防隊及び自治会等に対する訓練指導に関すること。
	13	火災の原因及び損害の調査に関すること。
	14	応急手当の指導普及に関すること。
	15	その他消防活動上及び火災予防上必要な事項に関すること。
	16	署の安全運転管理に関すること。
	17	署の庶務に関すること。
	熊谷消防署の事務分掌は、前項に掲げる事務のほか、次のとおりとする。	
	1	消防部隊の訓練及び演習に関すること。
	2	指揮活動に関すること。
	3	災害活動技術の調査、研究及び計画に関すること。
	4	火災の原因及び損害の調査等に係る指導及び支援に関すること。
	5	火災等の報告及び統計に関すること。

現 有 人 員

平成29年4月1日現在

階 級 別 所 属 別		消 防 吏 員							その他	合計		
		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長			士	
実 員		1	2	27	43	77	31	17	43	3	244	
実 員 配 置 状 況	消 防 本 部	消 防 長	1								1	
		次 長		1								1
	指 令 課	消防総務課			2	1	5 (2)	3	1	4 (4)		16 (6)
		予 防 課			2	2	4					8
		警 防 課			2	1	3	2			1	9
		指 令 課			3	2	4				2	11
	消 防 署	熊谷消防署		1	5	10	14	10	1	6		47
		玉井分署			2	4	9	4	4	7		30
		江南分署			2	5	5	2		4		18
		中央消防署			4	8	15	6	7	13		53
		大里分署			2	4	7	1		4		18
		妻沼消防署			3	6	11	3	4	5		32

※ () 内書きは、派遣職員及び消防総務課付学生
 ※ 実際の配置状況による。

消 防 職 員 年 齢 状 況

平成29年4月1日現在

階 級 別 年 齢 別		消 防 吏 員							その他	合計	
		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長			士
18歳～20歳									11		11
21歳～25歳								5	29		34
26歳～30歳							13	11	3		27
31歳～35歳						2	17	1			20
36歳～40歳						35	1			1	37
41歳～45歳					13	36					49
46歳～50歳				3	17	4					24
51歳～55歳				18	12						30
56歳以上		1	2	6	1					2	12
人 員 計		1	2	27	43	77	31	17	43	3	244
平 均 年 齢		58	57	53	48	41	32	27	23	52	39

消 防 職 員 勤 続 年 数 状 況

平成29年4月1日現在

階 級 別 勤 続 年 数 別	消 防 吏 員								その他	合計
	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士		
1 年 未 満	1							5	2	8
1年以上～5年未満							4	33		37
5年以上～10年未満						16	13	5		34
10年以上～15年未満					7	13			1	21
15年以上～20年未満					13	2				15
20年以上～25年未満				10	50					60
25年以上～30年未満			1	11	7					19
30年以上		2	26	22						50
人 員 計	1	2	27	43	77	31	17	43	3	244
平均勤続年数	0	38	34	28	20	10	6	2	4	18

常 備 消 防 管 内 情 勢

平成29年4月1日現在

区 分 所 属 別	世帯数	人口	職員 現在数	職 員 1 人 当 り	
				世帯数	人口
消 防 本 部			46		
熊 谷 消 防 署	12,702	30,578	47	270	651
玉 井 分 署	17,457	41,172	30	582	1,372
江 南 分 署	6,101	14,379	18	339	799
中 央 消 防 署	33,647	75,177	53	635	1,418
大 里 分 署	5,088	12,538	18	283	697
妻 沼 消 防 署	10,084	25,185	32	315	787
合 計	85,079	199,029	198	430	1,005

※ 職員現在数の合計は消防本部職員現在数を除いたものとなっています。

消 防 職 員 研 修 状 況 (現職)

平成29年4月1日現在

科 目 別		年 度 別		~H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計	
消 防 大 学 校	総合教育	幹部科(H18~)		1	1				1	3	
		上級幹部科									
		新任消防長・学校長科					1			1	
	専科教育	防 救 救 予 危 火	防科		5		1		1		7
			助科		5	1	1				7
			急科		2						2
			防科		2					1	3
			険物科(H18~)								
			災調		3					1	4
			査科								
	指揮隊長コース						2		1	3	
	緊急消防援助隊航空コース		1							1	
	火災調査講習会		1							1	
埼 玉 県 消 防 学 校	専 科 特 別 研 修 終 了 校	初任教育		192	5	8	8	8	7	228	
		警防科(H17~)		12	2	2	2	2	2	2	22
		予防査察科(H16~)		12	2		2			2	18
		火災調査科		6		3			2		11
		特殊災害科		8	2		2			2	14
		救急科		94	7	7	6	6	7	7	127
		救助科(H2~)		35	1	2	2	2	2	2	44
		警防活動教育		11	2	2	2	2	2	2	21
		水難救助員教育		5							5
		実科指導員科		6		2			2		10
		女性消防操法指導員教育								2	2
		高度・特別高度救助教育(H22~)		4	2						6
		幹部特別教育		4							4
		救助課程(~H1)		7							7
		警防科(~H16)		12							12
		予防科		12							12
		機関科		1							1
		通信科		5							5
		水難救助科		18							18
		梯子車運用課程		6							6
救急Ⅱ課程		41							41		
初級幹部科		15	2	2	2	2	2	2	25		
中級幹部科		4							4		
上級幹部科											
埼玉県救急救命士養成所		12	1	1	1	1	1	1	17		
救急救命東京研修所		15	1	1	1	1	1	1	20		
救急救命九州研修所		3							3		
合 計			560	29	32	31	30	33	715		

消防吏員特殊技能その他資格取得者数

平成29年4月1日現在

種 別			階級別		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	合 計
自動車運転免許	大型	第一種		2	27	43	77	33	17	23	222		
		第二種特殊			1	1	2				4		
	中型	第一種	1	2	27	43	78	30	7	1	189		
	普通	第一種						3	10	42	55		
	けん引自動車(含中型)			1	12	23	20	9	4	6	75		
移動式クレーン運転士						1					1		
自動車整備士	ガソリン3級					1					1		
危険物取扱者免許	甲種	第1類				1					1		
		第2類				1					1		
		第3類				1					1		
		第4類	1	6	12	23	2	3	1	48			
		第5類			1					1			
		第6類			1					1			
	丙種			5	47	2			54				
消防設備士免許	甲種	第1類				1	1				2		
		第2類				1					1		
		第3類					1				1		
		第4類				1	2	1		4			
	乙種	第5類				1		1		2			
		第1類				1	1			2			
		第2類											
		第3類											
		第4類				1	1	1		3			
		第5類											
第6類			3	4	11	2	1	21					
第7類				1	1			2					
小型船舶操縦士免許	1級				1					1			
	2級			7	17	18	1	1	44				
	特殊			4	10	10	5	1	30				
救急救命士					2	18	18	7	4	7	56		
救急(標準)資格者					2	13	59	24	3		101		
救急Ⅱ資格者				2	17	10					29		
応急手当指導員インストラクター						5	1				6		
応急手当指導員				2	25	40	77	22	15	28	209		
JPTECインストラクター						5	5				10		
JPTECプロバイダー					3	13	22	7	3	3	51		

種 別		階級別								合 計
		正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	
無線技士 免 許	陸上特殊1級			1	1		1			3
	陸上特殊2級			11	12	3	4			30
	陸上特殊3級			6	16	35	26	17	20	120
アーク・ガス溶接士			2	5	18	22	2		2	51
玉 掛 け 技 能			1	5	5	13	7	3	1	35
小型移動式クレーン技能			1	6	6	13	7	4	1	38
高 所 作 業 車 技 能				1			1			2
電 気 工 事 士					3	3				6
特定化学作業主任者			1	3	18	12	2			36
第二種酸素欠乏危険 作 業 主 任 者			2	6	7	13	4	1		33
潜 水 士				6	10	18	7	3	2	46
ダ イ バ ー 技 能				2	4	14	2			22
足 場 組 立			1	3						4
防 災 士						3				3
二 級 建 築 士				2						2
衛 生 管 理 者				3	2	4				9
テクニカルロープレスキュー				3	3	7	1			14
スイフトウォーターレスキュー						2				2
予防技術 資 格 者	防 火 査 察		1	8	7	30	11	5	1	63
	消 防 用 設 備 等		1	6	3	11				21
	危 険 物			5	3	10				18

消防費予算

平成29年度市当初予算額（一般会計）と消防費予算額の割合

市予算額 (千円)	消防費予算額 (千円)	割合 (%)
64,300,000	2,758,941	4.3

消防費予算額の内訳

款	項	目	予算額(千円)
消防費	消防費		2,758,941
		消防総務費	1,997,903
		常備消防費	287,782
		消防団費	142,496
		防災費	330,760

消防費予算額と人口、世帯の割合

平成29年4月1日現在

消防費予算額 (千円)	人口		世帯	
	人口	1人当り (円)	世帯	1世帯当り (円)
2,758,941	199,029	13,862	85,079	32,428

消 防 音 楽 隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、音楽活動を通じて、広く地域住民に対して、消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発活動を図るため、平成13年10月1日に設立しました。消防関係行事をはじめ、市主催の各種行事にも参加し、演奏を行いながら消防のPRに努めています。

1 編成（平成29年4月1日現在）

(1) 隊員編成

隊長 1人 副隊長 2人 隊員 24人 合計 27人

(2) 使用楽器

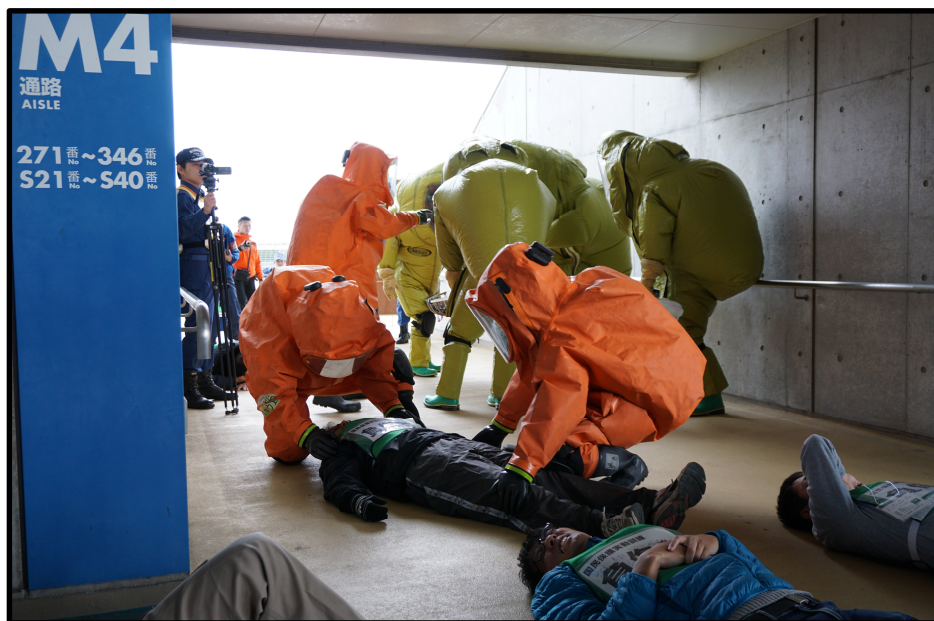
楽器名	楽器名
フルート	フレンチホルン
クラリネット	ユーホニウム
ソプラノサクソ	チューバ
アルトサクソ	ドラムセット
テナーサクソ	バスドラム
バリトンサクソ	シンバル
トランペット	シロフォン
トロンボーン	グロッケン
ティンパニー	

2 活動状況

平成28年度

	演 奏 回 数			
	消防関係	市関係	その他	合 計
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月		2		2
11月	2			2
12月				
1月		1		1
2月	1			1
3月		1		1
合 計	3	4		7

消防施設・機械



熊谷スポーツ文化公園陸上競技場において
埼玉県・熊谷市国民保護実動訓練

消防本部、消防署、分署庁舎一覧表

平成29年4月1日現在

	所在地	構造等	延面積 (㎡)	建築年月
熊谷市消防本部 熊谷消防署		鉄筋コンクリート造三階建	2,432.03	S58.6
訓練塔		鉄骨造 A塔 高さ 17.0m B塔 高さ 8.5m C塔 高さ 8.5m D塔 高さ 8.5m		H5.3 6.3 4.3 15.3
修理工場	原島675番地1	鉄骨造平家建	85.00	S53.8
高圧ガス 容器貯蔵庫		コンクリートブロック造 平家建	8.76	S55.3
空気ボンベ 充填庫		コンクリートブロック造 平家建	18.26	H22.3
玉井分署	新堀319番地2	鉄筋コンクリート造二階建	1,199.61	H3.3
江南分署	千代113番地2	鉄筋コンクリート造二階建	345.60	S48.2
中央消防署	末広二丁目134番地	鉄筋コンクリート造四階建 (四階は公民館)	2,996.78 〔消防 2,273.16〕 〔公民館 723.62〕	H25.2
大里分署	中曽根646番地	鉄筋コンクリート造二階建	345.60	S48.2
妻沼消防署	妻沼1720番地1	鉄筋コンクリート造三階建	1,198.80	H3.2

消防ポンプ自動車等性能一覧表

平成29年4月1日現在

	車名	種別	車名・型式	艀装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備考
消 防 本 部	本部指令1号車	指令車	トヨタ DBA-GRX120	埼玉トヨペット	H21	8	2,490		無線、AT
	総務1号車	連絡車	ダイハツ GF-L700S	埼玉ダイハツ	H12	17	650		
	総務2号車	研修車	三菱 GBD-U61V改	埼玉三菱	H22	7	650		天然ガス、AT
	予防1号車	査察車	スズキ EBD-DA64V	関東スズキ	H20	9	650		無線、AT
	予防2号車	連絡車	トヨタ DAA-NKE165G	トヨタカラウ新埼玉	H27	2	1,490		ハイブリッド、無線、AT
	警防1号車	連絡車	マツダ EBD-DG64V	関東マツダ	H22	7	650		無線、AT
	警防2号車	装備車	スズキ EBD-DA64V	関東スズキ	H20	9	650		無線、AT、車両整備機材積載
	警防3号車	多目的車	スズキ CBF-JCSGE25	関東スズキ	H21	8	2,480		無線、AT、カーナビ、AVM
	消防本部車	業務車	トヨタ YA-JKS175	埼玉トヨタ	H13	16	2,990		ハイブリッド、AT、カーナビ
	救急指導車	救急指導車	トヨタ DBA-ZRR75W	埼玉トヨタ	H24	5	1,980		AT、カーナビ
熊 谷 消 防 署	熊谷指揮1号車	指揮車	トヨタ CBF-TRH226K	㈱ネイチャー	H18	11	2,690		無線機2台、AT、AVM、FAX、PC、指揮用機材、緊急消防援助隊登録
	熊谷1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ SDG-GX7JGAA改	㈱ネイチャー	H27	2	6,400	A-2級	水II型、水槽2,000ℓ、無線、AVM、照明灯(LED90W×4)
	熊谷2号車	普通消防ポンプ自動車	三菱 KK-FG73ED	日本エレファント	H15	14	5,240	A-2級	CD-1型、無線、4WD、牽引フック、AVM、照明灯(ハロゲン500W×2)、緊急消防援助隊登録
	熊谷救助1号車	救助工作車	ヒノ PB-GX7GFA	帝国繊維	H17	12	6,400		救助II型、無線、カーナビ、4WD、クレーン2.93t、AVM、油圧ウインチ(フロント5t、リヤ10t)、船外機、ゴムポート、照明灯(600W×4)、緊急消防援助隊登録
	救急熊谷1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H22	7	2,690		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ
	熊谷指令1号車	指令車	マツダ DBF-BVY12	マツダオートザム	H24	5	1,490		無線、AT、AVM
	熊谷査察1号車	査察車	ニッサン HBD-DR17V	埼玉日産	H28	1	650		無線、AT、4WD
	熊谷支援1号車	支援車	ヒノ BDG-FQ1EWYG	ヨコハマモーターセールス	H23	6	12,910		無線、4WD、パワーゲート、拡張室、定員10(26)人、緊急消防援助隊登録

	車名	種別	車名・型式	機装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備考
熊谷消防署	熊谷機材1号車	資機材搬送車	三菱 KK-FE53EE	三菱ふそう	H12	17	5,240		3tロングボディー、無線、AVM、幌、パワーゲート、緊急消防援助隊登録
	中型輸送車	人員輸送車	三菱 KK-BE66DG	三菱ふそう	H11	18	4,890		AT、AVM
	熊谷トレーラ	ボートトレーラ	キング	(株)スナガ	H21	8			熊谷ボート用
	熊谷ボート	救助用ボート	ヤマハ W-18E		S61	31			船外機M-25C-25PS トーハツ
	熊谷ボート2	救助用ボート	アキレス SG-140		H17	12			船外機JET20-20PSマーキュリー
玉井消防分署	玉井1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ PB-GD7JGFA改	(株)ネイチャー	H17	12	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線、AVM、照明灯(メタハラ400W×4)
	玉井2号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-XZU334M	(株)モリタ	H20	9	4,000	A-2級	CD-1型、無線、AVM、キャブス装置、照明灯(メタハラ150W×2)、電動ホースカー
	熊谷梯子1号車	はしご付消防自動車	ヒノ LDG-PRIAPBF	(株)モリタ	H23	6	8,860		MLJSH5-30S型、無線、AT、4WS、AVM、30m級、先端屈折、リフター、バスケット
	熊谷化学1号車	化学車	ヒノ SDG-GD7JGAA改	(株)ネイチャー	H25	4	6,400	A-2級	化学II型、水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ、無線、AVM、キャブス装置、照明灯(メタハラ150W×2)
	救急玉井1号車	救急車	ニッサン CBF-FPWGE50改	(株)オーテックジャパン	H26	3	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ
	玉井査察1号車	査察車	ダイハツ EBD-S331V	埼玉ダイハツ	H27	2	650		無線、AT、4WD
	玉井可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツ V38AS	トーハツ	S49	43	385	B-3級	
江南消防分署	江南1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ KK-GD1JGDA改	GMいちほら	H12	17	7,960	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線、AVM、照明灯(メタハラ400W×4)
	救急江南1号車	救急車	ニッサン CBF-FPWGE50改	(株)オーテックジャパン	H28	1	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ
	江南査察1号車	査察車	三菱 GBD-U62V	三菱	H25	4	650		無線、4WD
	江南ボート	救助用ボート	アキレス LRB-330		H26	3			定員6名
	江南可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	トーハツ V38-AS	トーハツ	S49	43	385	B-3級	

	車名	種別	車名・型式	艀装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備考
中 央 防 署	中央1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ BDG- GD7JGWA改	(株)ネイチャー	H23	6	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線、AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、電動ホースカー
	中央2号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H21	8	4,000	A-2級	CD-1型、無線、AVM、キャフス装置、照明灯(メタハラ70W×2)、緊急消防援助隊登録
	中央3号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ BDG- GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	8	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線、AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、電動ホースカー
	熊谷梯子2号車	はしご付消防自動車	ヒノ U-FR3FPBA	(株)モリタ	H6	23	19,680		MLE5-35型、無線、AVM、30m級(35m)、リフター、バスケット
	熊谷救助2号車	救助工作車	ヒノ SDG- GX7JGAAH24	(株)モリタ	H24	5	6,400		救助Ⅲ型、無線、AVM、照明灯(450W×2)、クレーン2,93t、ウインチ(フロント5t、リヤ5t)、埼玉県特別機動援助隊登録
	救急中央1号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテックジャパン	H28	1	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ
	救急中央2号車	救急車	トヨタ CBF- TRH226S	トヨタテクノクラフト	H20	9	2,690		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ、緊急消防援助隊登録
	中央指令1号車	指令車	ニッサン TA-WFY11	埼玉日産	H13	16	1,490		無線、AT、AVM
	中央査察1号車	査察車	ダイハツ GD-S200V	埼玉ダイハツ	H12	17	650		無線
	中央査察2号車	査察車	ダイハツ EBD-S331V	埼玉ダイハツ	H27	2	650		無線、4WD
	中央ボート	救助用ボート	エイボン社		H21	8			船外機M8A-8PS トーハツ
	中央可搬式ポンプ1	小型動力ポンプ	トーハツ V38AS	トーハツ	S49	43	385	B-3級	
中央可搬式ポンプ2	小型動力ポンプ	トーハツ V38AS	トーハツ	S49	43	385	B-3級		
大 里 分 署	大里1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ SDG- GX7JGAA改	(株)ネイチャー	H28	1	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線、AVM、カーヒ、照明灯(LED90W×4)緊急消防援助隊登録
	救急大里1号車	救急車	ニッサン CBF- FPWGE50改	(株)オーテックジャパン	H27	2	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ
	大里査察1号車	査察車	三菱 GBD-U62V	三菱	H26	3	650		無線、4WD
	大里ボート	救助用ボート	アキレス LRB-330		H26	3			定員6名
	大里可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	シバウラ L618Z	シバウラ	H22	7	600	B-2級	

	車名	種別	車名・型式	艀装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備考
妻沼消防署	妻沼1号車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ BDG-GD7JGWA改	(株)モリタ	H21	8	6,400	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線、AVM、照明灯(メタハラ70W×2)、電動ホースカー
	妻沼2号車	普通消防ポンプ自動車	ヒノ TKG-XZU685M	(株)モリタ	H27	2	4,000	A-2級	CD-I型、無線、AVM、4WD、牽引フック、キャブス装置、緊急消防援助隊登録
	救急妻沼1号車	救急車	ニッサン CBF-FPWGE50改	(株)オーテックジャパン	H27	2	3,490		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ
	妻沼指令1号車	指令車	ニッサン DBA-NT31	ニッサン	H26	3	1,990		無線、AT、AVM、4WD、牽引フック
	妻沼査察1号車	査察車	ダイハツ GD-S200V	埼玉ダイハツ	H12	17	650		無線
	妻沼トレーラ	ボートトレーラ	サン自動車		H7	22			妻沼ボート用
	妻沼バイクトレーラ	水上バイクトレーラ	キング	(株)スナガ	H20	9			熊谷水上バイク1用
	妻沼ボート	救助用ボート	スナガ SF-16		H7	22			船外機MERC15-13PSマーキュリー
	熊谷水上バイク1	水上バイク	BRP社	(株)スナガ	H20	9	1,494		船内機ROTAX1503-131PS
	妻沼可搬式ポンプ	小型動力ポンプ	V-15A	トーハツ	S52	40	146	C-1級	
非常用車両	予備水槽車	水槽付消防ポンプ自動車	ヒノ KK-GD1JGDA改	GMいちほら	H12	17	7,960	A-2級	水IB型、水槽1,500ℓ、無線、AVM、照明灯(メタハラ400W×4)
	予備1ポンプ車	普通消防ポンプ自動車	イスズ KC-NKR71GN	GMいちほら	H9	20	4,570	A-2級	CD-I型、無線傍受機
	予備2ポンプ車	普通消防ポンプ自動車	イスズ KC-NKR71GN	野ロポンプ	H10	19	4,570	A-2級	CD-I型、無線傍受機
	救急熊谷2号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト	H21	8	2,690		高規格救急車、無線、AT、4WD、AVM、自動車電話、バックアイ

主な救助用資器材の保有状況

平成29年4月1日現在

種別	資器材名称	総数	熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署
一般救助用器具	かぎ付き梯子	10	1	3	1	4		1
	三連梯子	13	2	3	1	4	1	2
	ワイヤー梯子	2	1			1		
	空気式救助マット	2	1			1		
	救命索発射銃	5	1	1		2		1
	サバイバースリング及び縛帯	7	2	1		4		
	平担架	3	1			2		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	1			1		
	油圧スプレッダー	2	1			1		
	可搬ウインチ	3	2			1		
	マンホール救助器具	2	1			1		
	マット型空気ジャッキ	2	1			1		
	大型油圧スプレッダー	2	1			1		
	救助用支柱器具	1				1		
チェーンブロック	1				1			
切断用器具	油圧切断器	5	1	2		1	1	
	エンジンカッター	11	2	3	1	3	1	1
	ガス溶断器	2	1			1		
	チェーンソー	9	2	1	1	3	1	1
	鉄線カッター	14	2	3	1	5	1	2
	空気鋸	5	1		1	3		
	大型油圧切断器	2	1			1		
	空気切断器	2	1			1		
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1				1			
破壊用器具	万能斧	14	4	3	1	3	1	2
	ハンマー	15	4	2	1	5	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	3	1			1		1
	削岩機	2	1			1		
	ハンマドリル	3	2			1		
測定用器具	可燃性ガス測定器	8	3			3	1	1
	有毒ガス測定器	9	3			4	1	1
	酸素濃度測定器	9	4			3	1	1
	放射線測定器	14	9			4		1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	80	21	16	4	27	4	8
	酸素呼吸器	10	5			5		
	簡易呼吸器	14	7			7		
	防塵マスク	89	23	8	8	29	8	13
	送排風機	9	2	2		3	1	1

種別	資器材名称	総数	熊谷消防署	玉井署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署
隊員保護用器具	耐電手袋	16	5	3		8		
	耐電衣	10	2	3		5		
	耐電ズボン	10	2	3		5		
	耐電長靴	10	2	3		5		
	防塵メガネ	18	5			10	3	
	携帯警報機	23	9	5		5	4	
	特殊ヘルメット	2	2					
	防毒マスク	33	13	3	3	8	3	3
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	57	29			28		
	陽圧式化学防護服	10	5			5		
	耐熱服	5		3		2		
	放射線防護服	4	2			2		
除染器具	除染シャワー	2	1			1		
	除染剤散布器	2	1			1		
水難救助器具	潜水器具	5						5
	救命胴衣	54	12		6	16	6	14
	救命浮環	9	3		1	2	1	2
	救命ボート	6	2		1	1	1	1
	船外機	4	2			1		1
	浮標	1						1
山岳器具	バスケット担架	6	2	1		2		1
検索器具	簡易画像探索機	4	1	1		2		
高度救助用器具	画像探索機	2				2		
	地中音響探知機	1				1		
	熱画像直視装置	1				1		
	夜間用暗視装置	1				1		
	電磁波探査装置	1				1		
	地震警報機	1				1		
その他の救助用器具	投光器	17	3	4	1	6	1	2
	携帯投光器	34	7	4		14	2	7
	携帯拡声器	18	4	4	1	6	1	2
	携帯無線機	20	7	4	1	5	1	2
	応急処置用セット	11	2	2	1	4	1	1
	車両移動器具	6	2			4		
	緩降機	4	1	1		2		
	ロープ登降機	2	1			1		
	救助用降下機	9	2			7		
	発電機	18	4	4	1	6	1	2

通 信 施 設

平成29年4月1日現在

区 分		本部・熊谷 消 防 署	玉 井 分 署	江 南 分 署	中 央 消 防 署	大 里 分 署	妻 沼 消 防 署	合 計	
119回線		12						12	
消防専用回線			1	1	1	1	1	5	
加入電話		20	3	3	5	3	5	39	
埼玉県衛星通信 ネットワーク		1						1	
聴覚障害者専用 FAX		1						1	
警察専用電話		1						1	
東京ガス専用電話		1						1	
市水道部		1						1	
市役所直通電話		1						1	
日本緊急通報 サービス		2						2	
テレドーム		1						1	
携帯電話		6	1	1	4	1	1	14	
タブレット端末		2	1	1	2	1	1	8	
市防災行政無線		1						1	
県防災行政無線		1						1	
消 防 救 急 無 線	超 短 波	基地局	1					1	
		車載局	16	6	3	10	3	6	44
		携帯局	17	5	2	8	2	4	38

119番通報受信件数

	119	IP119	携帯119	合計
火災	25	28	75	128
救急	2,120	2,449	3,049	7,618
救助	5	2	15	22
警戒	16	14	73	103
試験	369	21	11	401
通報訓練	369	289	40	698
間違い	74	35	125	234
いたずら	32	15	39	86
病院問合せ	137	213	559	909
一般問合せ	100	118	266	484
携帯転送	0	0	174	174
その他	272	174	626	1,072
合計	3,519	3,358	5,052	11,929

災害等自動案内装置利用件数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
1月	6,264	9,117	8,632	7,389	3,116
2月	8,656	4,930	8,150	5,745	3,536
3月	8,740	11,427	6,185	4,560	4,561
4月	9,764	7,520	6,500	4,955	4,927
5月	9,077	8,731	6,948	4,477	5,528
6月	6,066	6,503	4,915	7,020	4,064
7月	4,756	4,168	3,622	3,712	3,515
8月	5,394	3,497	4,285	2,586	4,642
9月	9,570	8,091	8,005	4,960	2,057
10月	7,047	8,262	4,485	5,344	4,359
11月	7,075	7,459	5,140	4,388	4,527
12月	7,233	7,100	5,901	3,988	5,601
合計	89,642	86,805	72,768	59,124	50,433

消 防 水 利



平成29年2月に総務省補助金の交付を受け
更新した大里1号車

消 防 水 利 状 況

平成29年4月1日現在 単位(基)

分団別 種別		石原	荒川	上石	中央	筑波	肥塚	成田	佐谷田	久下	大幡	大麻生	
		防火水槽	100㎡以上	公設	1			2					1
私設					1	1	1					1	
40㎡以上 100㎡未満	公設		5	2	12	3	2	4	3	7	2	14	21
	私設		12	14	23	8	29	6	15	4		20	21
20㎡以上 40㎡未満	公設		4	4	17			7		2		21	16
	私設		19	35	26	23	30	12	18	10	3	40	23
掘井戸	40㎡以上	公設		2		1	1		1	1	2		
		私設					1						
	20㎡以上 40㎡未満	公設	7	1		16	11	5	9	12			
		私設											
	20㎡未満	公設	3	6		1		3	2	1		4	
		私設					1						
さく井式井戸	40㎡以上	公設	1	9		3	17	4	53	49	37		
		私設		3		1	16	10	37	34	13	3	
	20㎡以上 40㎡未満	公設	1	3		15	19	36	59	56	12	6	
		私設	1				3	8	13	6	2	3	
	20㎡未満	公設		9				4	3		2		
		私設							1		1		
消火栓	公設	125	152	121	136	147	130	212	108	81	148	145	
	私設												
その他		4	3		1	2		4	2	1	2	4	
合 計		183	243	200	211	280	229	430	292	156	263	230	

種別		分団別											
		玉井	中条	奈良	別府	三尻	吉岡	太井	星宮	妻沼	弥藤吾	男沼	
防火水槽	100㎡以上	公設					1						
		私設	1				2	1					
	40㎡以上 100㎡未満	公設	22	1	2	3	49	15		1	4	2	6
		私設	31	4	12	4	37	23	1		18	13	10
	20㎡以上 40㎡未満	公設	30		14	18	26	10			2		
		私設	46	4	11	7	55	16		1	4	2	4
掘井戸	40㎡以上	公設		1	2			4				1	3
		私設											
	20㎡以上 40㎡未満	公設		8	8			1		6	21	4	26
		私設											
	20㎡未満	公設		2	9	8		2			12	13	5
		私設											
さく井式井戸	40㎡以上	公設		30	8				5	24	9	5	1
		私設		9	4				12	5	20	3	
	20㎡以上 40㎡未満	公設		62	28	7		1	13	4	26	19	13
		私設		8	3	1		2	1		18	13	2
	20㎡未満	公設				3		1		1	3		1
		私設						3				1	
消火栓	公設	370	125	136	111	313	168	15	42	110	64	59	
	私設									2			
その他		5	2	2	2	3	3		1	2	2	1	
合計		505	256	239	164	486	250	47	85	251	142	131	

分団別 種別		小島	太田	長井	秦	大里中央	大里北	大里南	江南中央	江南北	江南南	合計	
防火水槽	100㎡以上	公設										5	
		私設							2			10	
	40㎡以上 100㎡未満	公設	1	8	9	2		2	11	13	5	8	239
		私設		6	35	6	1	3	8	27	5	11	407
	20㎡以上 40㎡未満	公設		1	2		10	15	28	16	23	18	284
		私設		2	3	2	1	2	4	23	3	5	434
掘井戸	40㎡以上	公設			1	1		4				25	
		私設										1	
	20㎡以上 40㎡未満	公設	10	26	28	30		1					230
		私設											
	20㎡未満	公設	2	11	17	15		2					118
		私設											1
さく井式井戸	40㎡以上	公設		1	10	3	8	18	6			301	
		私設		2	13	2		2				189	
	20㎡以上 40㎡未満	公設	9	34	39	31	5	15	11				524
		私設		20	36	4		1	1				146
	20㎡未満	公設	2	3	3		4	15	5				59
		私設		2	4	1		2	1				16
消火栓	公設	13	88	114	66	18	54	89	186	120	128	3,894	
	私設			1							3	6	
その他		1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	57	
合計		38	205	316	164	48	137	166	268	157	174	6,946	

署 別 消 防 水 利 状 況

平成 2 9 年 4 月 1 日 現 在 単 位 (基)

種 別		署 別	熊 谷 消 防 署	玉 井 分 署	江 南 分 署	中 央 消 防 署	大 里 分 署	妻 沼 消 防 署	合 計
防 火 水 槽	100㎡以上	公設	1	1		3			5
		私設	2	3	3	2			10
	40㎡以上 100㎡未満	公設	47	74	38	32	16	32	239
		私設	75	72	61	94	17	88	407
	20㎡以上 40㎡未満	公設	62	74	58	23	62	5	284
		私設	99	108	41	156	13	17	434
掘 井 戸	40㎡以上	公設	3		2	8	6	6	25
		私設				1			1
	20㎡以上 40㎡未満	公設	17		1	66	1	145	230
		私設							
	20㎡未満	公設	15	8	1	16	3	75	118
		私設				1			1
さ く 井 式 井 戸	40㎡以上	公設	39			201	32	29	301
		私設	18			129	2	40	189
	20㎡以上 40㎡未満	公設	98	7		216	32	171	524
		私設	16	1	1	32	3	93	146
	20㎡未満	公設		3		19	25	12	59
		私設			1	2	5	8	16
消 火 栓		公設	622	794	517	1,201	246	514	3,894
		私設			2		1	3	6
そ の 他			10	10	4	18	6	9	57
合 計			1,124	1,155	730	2,220	470	1,247	6,946

火 災 予 防



熊谷市立大幡小学校
植野 莉生さんの作品です。

熊谷市立奈良小学校
木村 洋希さんの作品です。

熊谷市消防本部が主催する平成28年度春季及び秋季火災予防運動ポスターコンクールにおいて、最優秀賞を受賞した作品です。

防 火 対 象 物 数

平成29年4月1日現在（検査実施対象物数は平成28年度中）

用 途 別	防 火 対 象 物		
	令第6条該当対象物	検査を要する対象物	検査実施対象物
(1) 劇場、映画館、集会場の類	86	54	
(2) キャバレー、遊技場の類	31	22	
(3) 料理店、飲食店の類	158	54	
(4) 百貨店、マーケットの類	296	154	2
(5) 旅館、共同住宅の類	1,754	799	10
(6) 病院、福祉施設、幼稚園の類	394	229	10
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	246	218	2
(8) 図書館、博物館の類	7	6	
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	9	5	1
(10) 車両の駐車場の類	2	2	
(11) 社寺、教会の類	63	45	
(12) 工場、作業場の類	771	558	1
(13) 自動車車庫、駐車場の類	48	35	
(14) 倉 庫	696	445	3
(15) 前各号に該当しない事業場	823	647	7
(16) 複合用途防火対象物	622	473	1
(16の2) 地 下 街			
(16の3) 準 地 下 街			
(17) 重要文化財、重要民族資料等	5		
(18) ア ー ケ ー ド			
(19) 山 林			
(20) 舟 車			
合 計	6,011	3,746	37

消 防 同 意 件 数

平成28年度中

用途別	工事別	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模 様 替	用 途 変 更	そ の 他	合 計
劇場、映画館、集会場の類		5								5
キャバレー、遊技場の類										
料理店、飲食店の類		5								5
百貨店、マーケットの類		12	2							14
旅館、共同住宅の類		28	2							30
病院、福祉施設、幼稚園の類		14	2					2		18
小、中、高、大学 各種学校の類		5					1			6
図書館、博物館の類										
公衆浴場、特殊浴場の類			1							1
車両の駐車場の類		1								1
社寺、教会の類		1								1
工場、作業場の類		14	1							15
自動車車庫、駐車場		5	1							6
倉庫		20								20
前各号に該当しない事業場		32	1		1				1	35
複 合 用 途		10	1					2		13
重要文化財の類										
専用住宅		30			3					33
危険物製造所等		1								1
建築設備										
そ の 他		52								52
合 計		235	11		4		1	4	1	256

危険物の類別製造所等施設数

平成29年4月1日現在

施設別		類別	対象施設数	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在
製造所			5				2			3
貯蔵所	屋内貯蔵所		109	1	1		98	1		8
	屋外タンク貯蔵所		74				74			
	屋内タンク貯蔵所		14				14			
	地下タンク貯蔵所		148				148			
	簡易タンク貯蔵所		3				3			
	移動タンク貯蔵所		39				39			
	屋外貯蔵所		25				25			
取扱所	給油取扱所	営業用(セルフ)	48 (12)				48 (12)			
		自家用	68				68			
	第1種販売取扱所		3				3			
	第2種販売取扱所									
	一般取扱所		114				110			4
合計			650	1	1		632	1		15

危険物の指定数量倍数別製造所等施設数

平成29年4月1日現在

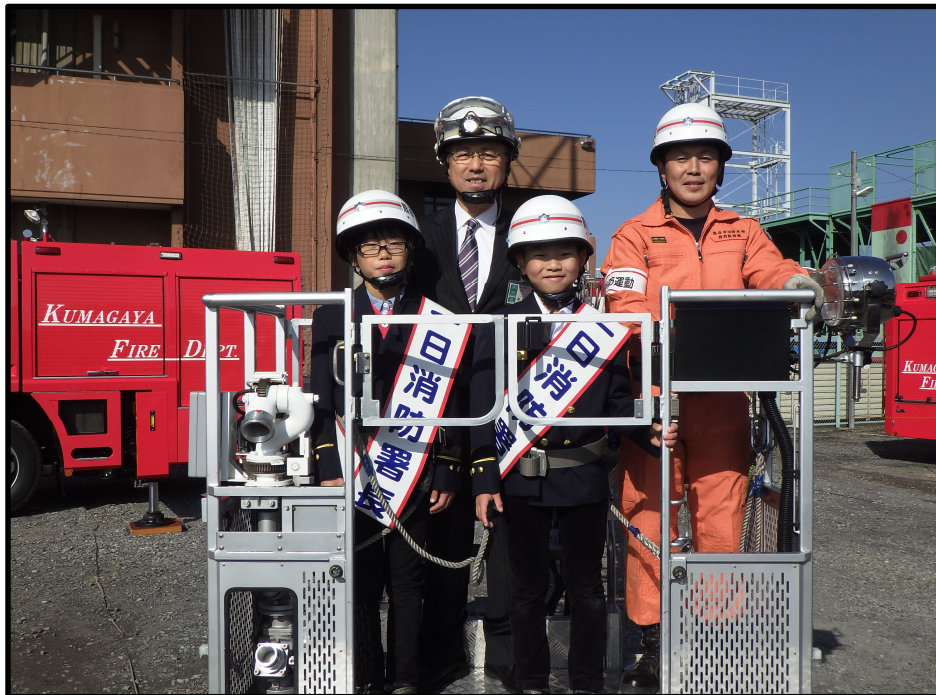
施設別		倍数別								合計
		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超え5000倍以下	
製造所			4		1					5
貯蔵所	屋内貯蔵所	58	20	21	5	3	1	1		109
	屋外タンク貯蔵所	22	16	19	9	2	2	4		74
	屋内タンク貯蔵所	11	3							14
	地下タンク貯蔵所	68	39	27	8	2	3	1		148
	簡易タンク貯蔵所	3								3
	移動タンク貯蔵所	20	5	5	7	1	1			39
	屋外貯蔵所	9	4	9	1	2				25
取扱所	給油取扱所	営業用(セルフ)			9	9	14(2)	16(10)		48(12)
		自家用	5	18	33	11	1			68
	第1種販売取扱所		1	2						3
	第2種販売取扱所									
	一般取扱所		46	33	21	6		2	6	
合計		243	144	135	57	20	23	28		650

防火対象物別消防訓練実施状況

平成28年度中

用 途 別	実 施 回 数	参 加 人 員
(1) 劇場、映画館、集会場の類	36	702
(2) キャバレー、遊技場の類	12	77
(3) 料理店、飲食店の類	42	209
(4) 百貨店、マーケットの類	116	1,346
(5) 旅館、共同住宅の類	30	556
(6) 病院、福祉施設、幼稚園の類	353	21,689
(7) 小、中、高、大学、各種学校の類	40	17,950
(8) 図書館、博物館の類	4	80
(9) 公衆浴場、特殊浴場の類	3	35
(10) 車両の駐車場の類		
(11) 社寺、教会の類	2	105
(12) 工場、作業場の類	31	4,870
(13) 自動車車庫、駐車場		
(14) 倉 庫	7	224
(15) 前各号に該当しない事業場	43	1,792
(16) 複合用途防火対象物	246	12,417
(16の2) 地 下 街		
(16の3) 準 地 下 街		
(17) 重要文化財、重要民族資料等		
(18) ア ー ケ ー ド		
(19) 山 林		
(20) 舟 車		
合 計	965	62,052

火 災



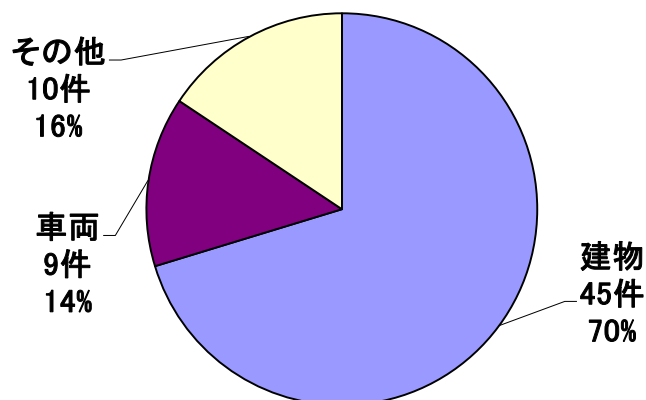
第17回消防フェアではしご車に搭乗する市長と一日消防署長

火災の発生状況

区分	年別		
	平成28年	平成27年	増減数
火災件数	64	45	19
建物	45	28	17
林野			
車両	9	3	6
船舶			
航空機			
その他	10	14	△4
建物焼損床面積 (㎡)	924	667	257
建物焼損表面積 (㎡)	152	569	△417
林野焼損面積 (a)			
車両等焼損台数	16	14	2
損害額 (千円)	466,523	73,706	392,817
焼損棟数	69	50	19
り災世帯数	35	32	3
り災人員	88	75	13
死者	2	2	
65歳以上の死者		1	△1
負傷者	9	14	△5
30日死者			
出火率	3.2	2.3	0.9

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

平成28年火災発生件数



月別火災発生状況

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数	3	2	6	7	9	7	7	8	2	2	5	6	64
建物	2	2	5	4	6	4	4	7	1	1	4	5	45
林 野													
車 両	1		1	1	2		2			1	1		9
船 舶													
航空機													
その他				2	1	3	1	1	1			1	10
焼損棟数	2	2	10	4	6	7	4	13	1	1	14	5	69
全 焼		1	3			2		3			5		14
半 焼													
部分焼					2	2	2	7		1	2	3	19
ぼ や	2	1	7	4	4	3	2	3	1		7	2	36
死傷者		2			2	2	1	1			1	2	11
死 者					1	1							2
負傷者		2			1	1	1	1			1	2	9
(30日死者)													
り災世帯		1	4	3	3		3	11			7	3	35
全 損		1	2					3			1		7
半 損													
小 損			2	3	3		3	8			6	3	28
り災人員		1	12	4	10		7	27			21	6	88
建物焼損床面積(m ²)		154	88		3	126	10	271		1	261	10	924
建物焼損表面積(m ²)			18		1	2	1	32			98		152
林野焼損面積(a)													
車両等焼損台数	1		1	1	2	1	2	1		1	6		16
損害額(千円)	64	4,200	431,702	330	261	2,614	5,843	12,978	254	30	6,564	1,683	466,523
建物													
建築物	2	2,688	386,169	126	100	1,700	1,291	9,074		5	2,929	1,214	405,298
収容物	2	1,512	1,202	8	41	195	258	3,638			2,635	469	9,960
林 野													
車 両	60		450	35	120	500	1,600	10		25	621		3,421
船 舶													
航空機													
その他			43,881	161		219	2,694	256	254		379		47,844
爆 発													

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

署別火災発生状況

区 分	熊谷 消防署	玉井 分署	江南 分署	中央 消防署	大里 分署	妻沼 消防署	合計	前年 合計	増減数
火災件数	10	13	8	25	2	6	64	45	19
建物	9	9	5	16	1	5	45	28	17
林 野									
車 両		2	2	4	1		9	3	6
船 舶									
航空機									
その他	1	2	1	5		1	10	14	△ 4
焼損棟数	16	15	7	22	1	8	69	50	19
全 焼	6	3	1	1		3	14	7	7
半 焼								2	△ 2
部分焼	2	5	1	7	1	3	19	19	
ぼ や	8	7	5	14		2	36	22	14
死傷者	1		4	4		2	11	16	△ 5
死 者			1	1			2	2	
負傷者	1		3	3		2	9	14	△ 5
(30日死者)									
り災世帯	10	5	3	10	1	6	35	32	3
全 損	4			1		2	7	5	2
半 損								3	△ 3
小 損	6	5	3	9	1	4	28	24	4
り災人員	18	18	7	24	3	18	88	75	13
建物焼損床面積(㎡)	281	145	10	153	10	325	924	667	257
建物焼損表面積(㎡)	12	22	5	96		17	152	569	△ 417
林野焼損面積(a)									
車両等焼損台数		3	2	9	1	1	16	14	2
損害額(千円)	4,879	433,342	2,067	7,970	2,917	15,348	466,523	73,706	392,817
建物									
建築物	3,670	388,108	102	2,567	1,248	9,603	405,298	48,411	356,887
収容物	1,201	519	1,769	2,968	249	3,254	9,960	13,519	△ 3,559
林 野									
車 両		585	196	1,430	1,200	10	3,421	10,570	△ 7,149
船 舶									
航空機									
その他	8	44,130		1,005	220	2,481	47,844	1,206	46,638
爆 発									

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」の欄に計上し、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

月別、分団別火災発生件数

分団別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
石原	1		1										2
荒川						2							2
上石													
中央					1			1			2	2	6
筑波	1		1				1	1				1	5
肥塚			1										1
成田				1			1	1	1			1	5
佐谷田				1	3								4
久下													
大幡								1	1				2
大麻生				2									2
玉井			1		1	3		1		1		1	8
中条						1							1
奈良					1					1	1		3
別府					1								1
三尻	1		1	1				1					4
吉岡		1						1				1	3
太井													
星宮				1	1								2
妻沼								1					1
弥藤吾			1										1
男沼													
小島													
太田													
長井					1				1				2
秦		1							1				2
大里中央													
大里北													
大里南								2					2
江南中央					1	1	1				1	1	5
江南北													
江南南													
合計	3	2	6	7	9	7	7	8	2	2	5	6	64

月別、時刻別火災発生件数

時刻別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
0～1			1									1	2
1～2				1				1					2
2～3		1					1	1					3
3～4			1			1							2
4～5						2			1		1		4
5～6													
6～7					2	1		1					4
7～8			1	1			1				1		4
8～9			1					1					2
9～10					2								2
10～11							1						1
11～12	1			2								1	4
12～13					1								1
13～14								1			1		2
14～15						2				1	1		4
15～16			1		2		1						4
16～17	1			1				1					3
17～18										1		1	2
18～19													
19～20	1				1			1				1	4
20～21					1								1
21～22			1				1						2
22～23		1				1	1						3
23～24				1									1
不 明				1			1	1	1		1	2	7
合 計	3	2	6	7	9	7	7	8	2	2	5	6	64

損害額及び焼損面積区分による火災発生件数

損害額区分		件数	焼損床面積区分		件数
1万円未満		17	3.3㎡未満		32
1万円以上	50万円未満	32	3.3㎡以上	50㎡未満	6
50万円以上	100万円未満	2	50㎡以上	100㎡未満	3
100万円以上	200万円未満	7	100㎡以上	200㎡未満	4
200万円以上	300万円未満	3	200㎡以上	300㎡未満	
300万円以上	400万円未満		300㎡以上	400㎡未満	
400万円以上	500万円未満		400㎡以上	500㎡未満	
500万円以上	600万円未満	1	500㎡以上	600㎡未満	
600万円以上	700万円未満		600㎡以上	700㎡未満	
700万円以上	800万円未満		700㎡以上	800㎡未満	
800万円以上	900万円未満		800㎡以上	900㎡未満	
900万円以上	1,000万円未満	1	900㎡以上	1,000㎡未満	
1,000万円以上	1,500万円未満		1,000㎡以上		
1,500万円以上		1	(林野、車両、その他)		19
合 計		64	合 計		64

出火原因別火災発生件数

年別 区分	平成28年	平成27年	増減数
たばこ	3	5	△2
こんろ	11	4	7
かまど	1		1
風呂かまど			
炉		1	△1
焼却炉		1	△1
ストーブ	2	1	1
こたつ			
ボイラー			
煙突・煙道			
排気管	1	1	
電気機器	3		3
電気装置		3	△3
電灯・電話等の配線	3		3
内燃機関			
配線器具	1	3	△2
火遊び			
マッチ・ライター		1	△1
焚き火		1	△1
溶接機・溶断機		1	△1
灯火	1		1
衝突の火花	1		1
取灰			
火入れ	1	3	△2
放火	19	1	18
放火の疑い	3	2	1
その他	10	11	△1
不明・調査中	4	6	△2
合計	64	45	19

※ 出火原因区分は、火災報告取扱要領国表03表による。

曜日別火災発生件数

種別 曜日別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合計
日曜日	7		3				10
月曜日	3		1			2	6
火曜日	10					2	12
水曜日	6		3			1	10
木曜日	10		1			1	12
金曜日	4		1			1	6
土曜日	3						3
不明	2					3	5
合計	45		9			10	64

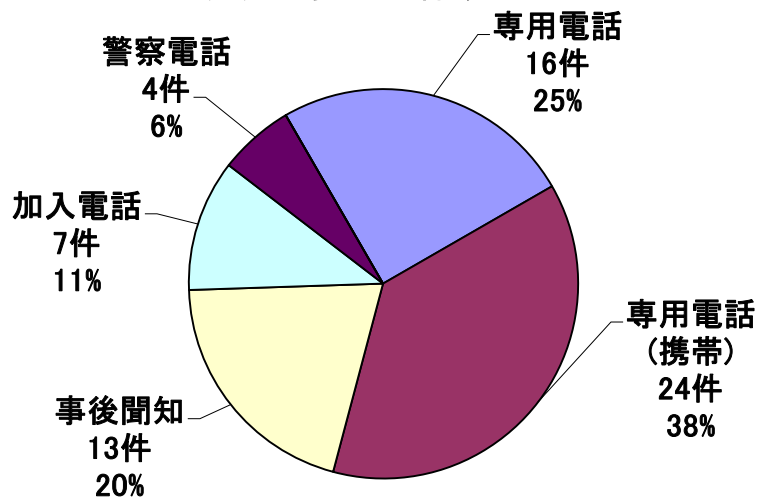
時刻別火災発生件数

種別 時刻別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	合計
0 ~ 1	1		1				2
1 ~ 2	2						2
2 ~ 3	2					1	3
3 ~ 4	2						2
4 ~ 5	3					1	4
5 ~ 6							
6 ~ 7	2					2	4
7 ~ 8	3		1				4
8 ~ 9	2						2
9 ~ 10	1		1				2
10 ~ 11	1						1
11 ~ 12	2		1			1	4
12 ~ 13	1						1
13 ~ 14	2						2
14 ~ 15	2					2	4
15 ~ 16	2		2				4
16 ~ 17	2		1				3
17 ~ 18	1		1				2
18 ~ 19							
19 ~ 20	4						4
20 ~ 21	1						1
21 ~ 22	1		1				2
22 ~ 23	3						3
23 ~ 24	1						1
不明	4					3	7
合計	45		9			10	64

火災発生覚知別件数

区分 月別	専用電話	専用電話 (携帯)	事後聞知	加入電話	警察電話	駆付通報	その他	合計
1月			1	2				3
2月	1	1						2
3月	1	3	1		1			6
4月	1	3	1	1	1			7
5月	3	3	1	1	1			9
6月	2	2		2	1			7
7月	1	5	1					7
8月	3	2	3					8
9月			2					2
10月		1	1					2
11月	1	3	1					5
12月	3	1	1	1				6
合計	16	24	13	7	4			64

火災発生覚知別件数



主なる火災 (損害額1,000万円以上の火災)

月日	地 区	用 途	焼損床・表面積(m ²)	損害額(千円)
3月15日	熊谷市新堀地内	駅舎		428,226千円

死者を伴った火災

月日	入電時間	地 区	火災種別	死者数(死者・30日死者)
5月20日	8時05分	熊谷市下川上地内	その他の火災	死者1名
6月21日	9時50分	熊谷市板井地内	その他の火災	死者1名

※ 火災に直接起因して48時間以内に亡くなった者を「死者」、負傷者のうちでも48時間を超え30日以内に亡くなった者を「30日死者」として取り扱っています。

救 急 ・ 救 助



平成29年1月に防衛省補助金の交付を受け
更新した救急江南1号車

事故種別出動状況

種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年 合計	増減数
	出動件数		839	711	743	701	742	741	803	762	739	722	758	842	9,103	8,650
救急事故種別件数	火災	1	2	5	3	4	4	5	5		1	4	5	39	36	3
	自然															
	水難				1	1			1		1	1	1	6	5	1
	交通	82	62	73	84	76	101	95	68	70	92	81	100	984	901	83
	労災	5	6	8	3	10	14	20	17	7	9	11	11	121	124	△ 3
	運動	4	5	8	14	6	14	17	13	15	11	8	10	125	116	9
	一般	119	97	92	90	95	100	98	94	93	87	107	106	1,178	1,138	40
	加害	4	2	5	5	5	4	2	7	10	4	9	2	59	59	
	自損	9	5	9	17	5	7	9	9	9	4	5	12	100	90	10
	急病	533	463	467	421	464	437	465	460	450	451	472	495	5,578	5,373	205
その他	82	69	76	63	76	60	92	88	85	62	60	100	913	808	105	
傷病者 搬送件数		753	658	665	616	648	663	709	663	670	644	670	733	8,092	7,714	378
不搬送件数		86	53	78	85	94	78	94	99	69	78	88	109	1,011	936	75
医師器材 搬送件数																
搬送人員	男	420	354	352	351	339	363	383	346	347	364	352	404	4,375	4,231	144
	女	341	314	322	270	318	307	340	326	335	291	328	343	3,835	3,604	231
	計	761	668	674	621	657	670	723	672	682	655	680	747	8,210	7,835	375

事故種別署別出動状況

種別		署別						合計
		熊谷消防署	玉井分署	江南分署	中央消防署	大里分署	妻沼消防署	
出動件数		1,878	1,605	879	3,058	728	955	9,103
救急事故種別件数	火災	7	3	6	11	6	6	39
	自然							
	水難		1	2	1		2	6
	交通	219	194	84	324	69	94	984
	労災	30	15	22	18	10	26	121
	運動	42	15	13	38	6	11	125
	一般	233	204	96	409	103	133	1,178
	加害	10	7	6	30	2	4	59
	自損	20	15	12	32	8	13	100
	急病	1,170	1,033	561	1,740	449	625	5,578
	その他	147	118	77	455	75	41	913
傷病者搬送件数		1,697	1,320	821	2,700	677	877	8,092
不搬送件数		181	285	58	358	51	78	1,011
医師器材搬送件数								
搬送人員	男	930	741	446	1,413	352	493	4,375
	女	792	605	387	1,319	330	402	3,835
	計	1,722	1,346	833	2,732	682	895	8,210

事故種別時刻別搬送人員

時刻別 事故種別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
火災		1		2	1			1	1	2		1	9
自然													
水難									1				1
交通	27	13	21	115	112	101	114	91	149	120	73	45	981
労災	1	3	1	1	18	26	22	19	14	8	3	1	117
運動				3	8	31	36	24	7	8	4	1	122
一般	43	25	29	71	151	135	133	103	119	107	101	59	1,076
加害	4	4	2	2	2	1	3	4	5	7	7	5	46
自損	3	4	1	5	8	7	7	9	5	7	5	8	69
急病	275	226	269	441	599	521	485	460	478	524	438	359	5,075
その他	11	15	6	8	90	156	134	107	92	44	32	19	714
合計	364	291	329	648	989	978	934	818	871	827	663	498	8,210

事故種別傷病程度別搬送人員

傷病程度別 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
火 災			3	6		9
自 然						
水 難		1				1
交 通	2	38	83	858		981
労 災	1	11	32	73		117
運 動	1	1	35	85		122
一 般	10	104	293	669		1,076
加 害			5	41		46
自 損	1	7	27	34		69
急 病	135	530	1,938	2,472		5,075
その他	1	202	454	57		714
合 計	151	894	2,870	4,295		8,210

救急告示医療機関及びその他医療機関への搬送状況

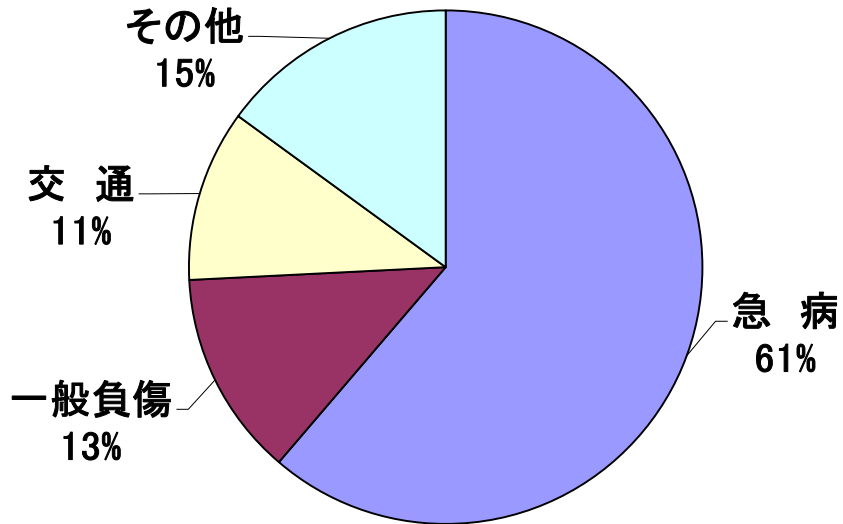
種 別		区 分		合 計	前年合計	増減数
		救急告示医療機関	その他の医療機関			
男 女 別	男	3,977	398	4,375	4,231	144
	女	3,491	344	3,835	3,604	231
	計	7,468	742	8,210	7,835	375
事 故 種 別	急 病	4,617	458	5,075	4,857	218
	交 通	965	16	981	937	44
	一般負傷	1,030	46	1,076	1,034	42
	そ の 他	856	222	1,078	1,007	71
	計	7,468	742	8,210	7,835	375
傷 病 程 度 別	死 亡	139	12	151	136	15
	重 症	739	155	894	867	27
	中 等 症	2,511	359	2,870	2,696	174
	軽 症	4,079	216	4,295	4,136	159
	そ の 他					
	計	7,468	742	8,210	7,835	375

救 急 告 示 医 療 機 関 （ 熊 谷 市 ）		
名 称	認 定 日	告 示
熊谷外科病院	H27.2.28	H27. 3.3告示第 190号
埼玉慈恵病院	H28.12.17	H28.12.26告示第1641号
熊谷総合病院	H28.5.1	H28.5.6告示第632号
関東脳神経外科病院	H28.12.17	H28.12.26告示第1641号
熊谷生協病院	H28.9.3	H28.9.6告示第1179号

傷 病 程 度 （救急事故等報告要領に基づく）	
死 亡	初診時において、死亡が確認されたもの
重 症	3週間以上の入院加療を必要とするもの
中 等 症	重症又は軽症以外のもの
軽 症	入院加療を必要としないもの
そ の 他	医師の診断がないもの又は搬送先が医療機関ではない場所へ搬送されたもの

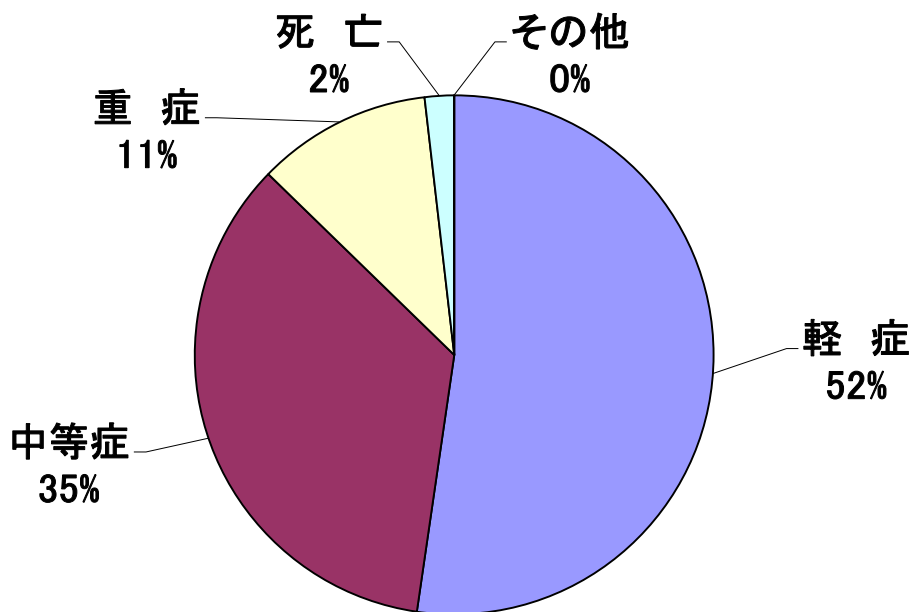
事故種別出動件数

	急病	一般負傷	交通	その他	合計
出動件数	5,578	1,178	984	1,363	9,103

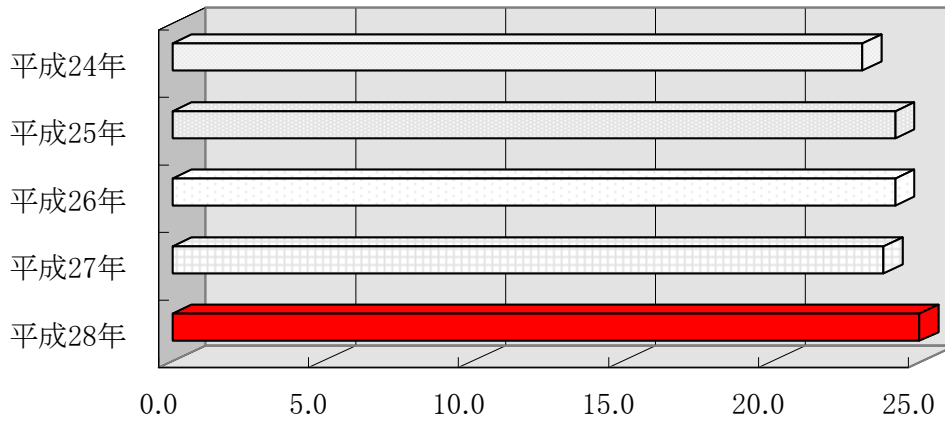


程度別搬送人員

	軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
搬送人員	4,295	2,870	894	151	0	8,210

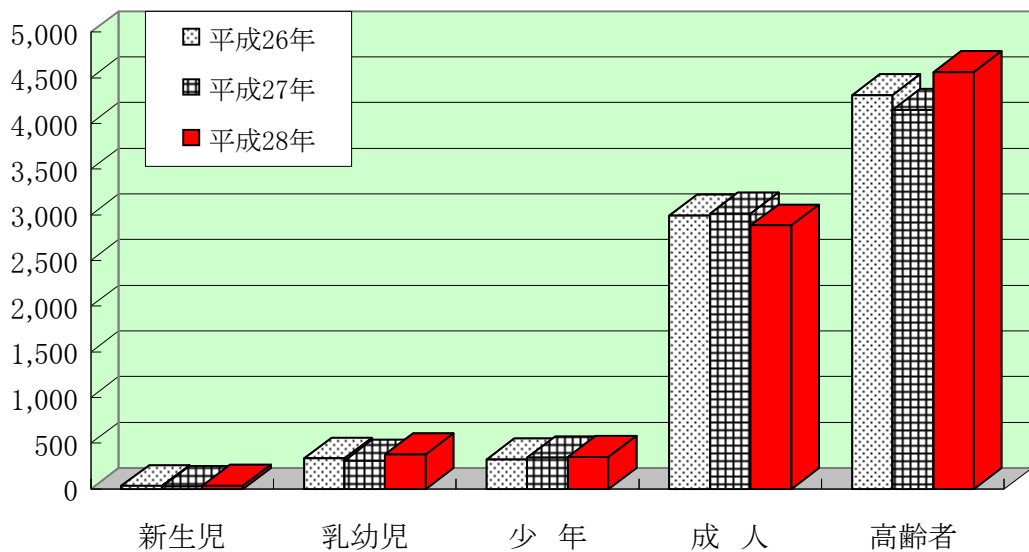


一日平均救急出動件数の年別比較



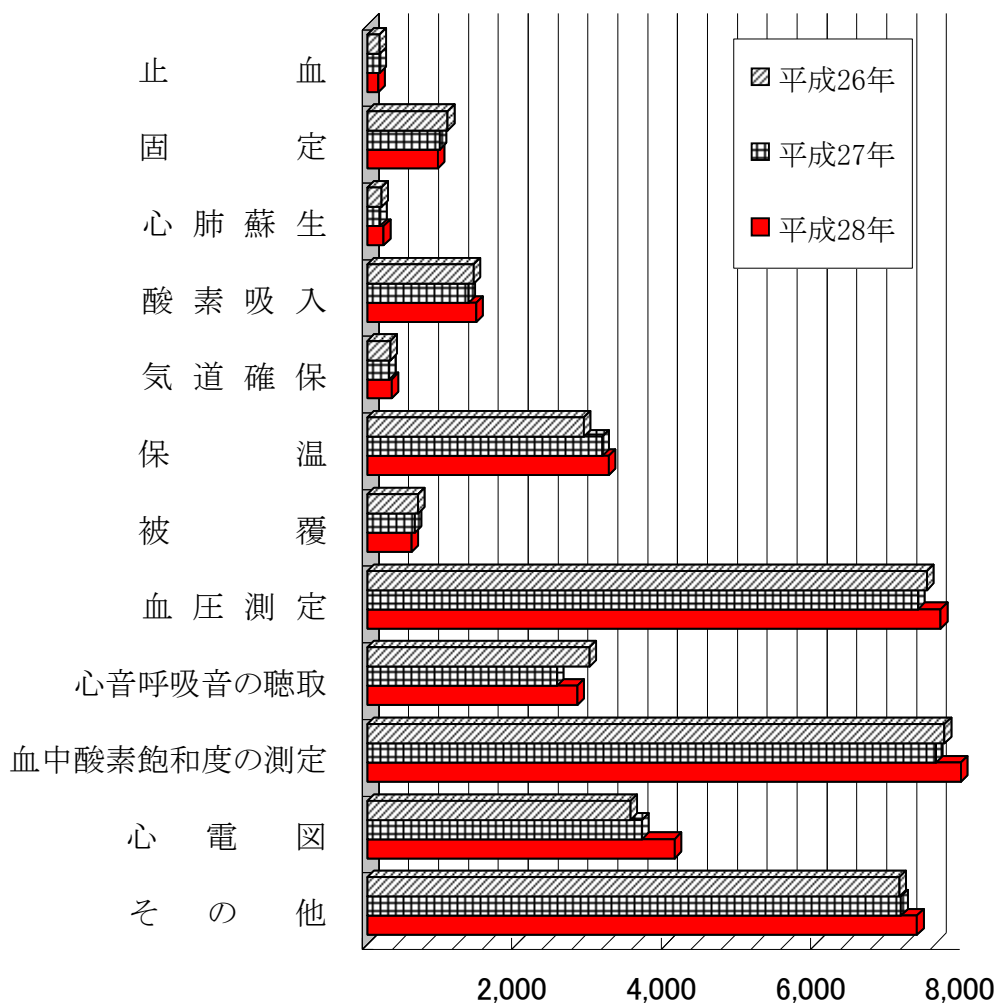
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
出動件数	23.0	24.1	24.1	23.7	24.9

年齢別搬送人員



年齢別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	生後29日未 満	生後29日 以上満7歳 未 満	満7歳以上 満18歳 未 満	満18歳以上 満65歳 未 満	満65歳以上	
平成26年	31	332	321	2,993	4,312	7,989
平成27年	24	309	341	3,015	4,146	7,835
平成28年	36	379	350	2,883	4,562	8,210

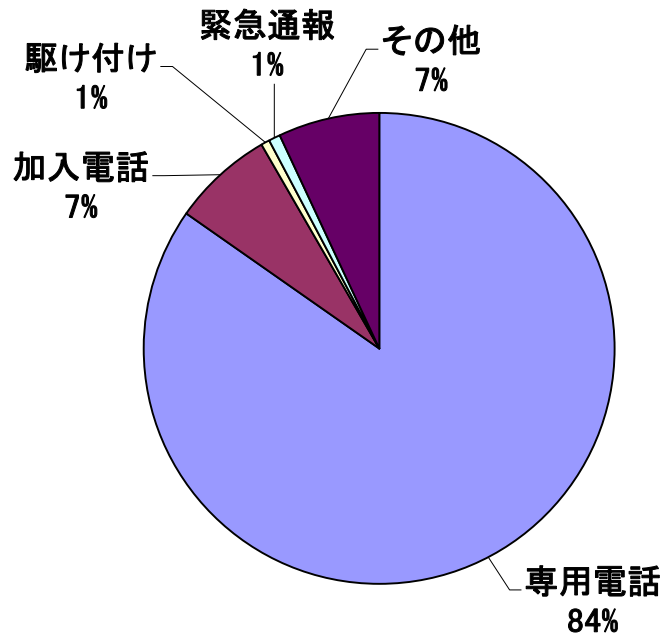
救急隊員の行った応急処置件数



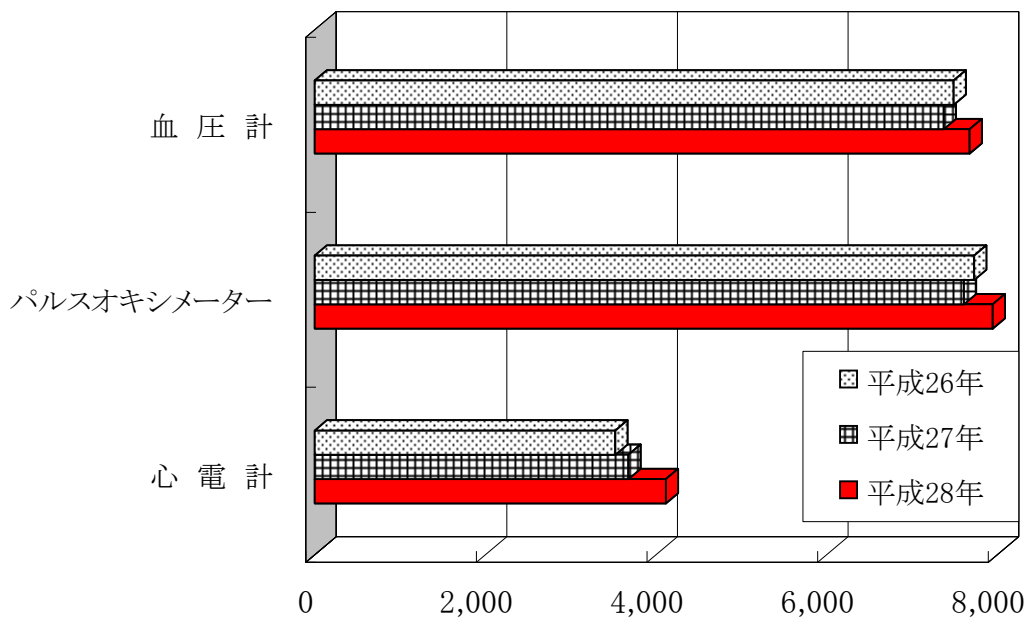
	平成26年	平成27年	平成28年
止血	166	167	147
固定	1,078	968	948
心肺蘇生	191	170	220
酸素吸入	1,427	1,354	1,458
気道確保	309	291	330
保温	2,897	3,147	3,234
被覆	676	634	592
血圧測定	7,490	7,372	7,676
心音呼吸音の聴取	2,977	2,540	2,812
血中酸素飽和度の測定	7,728	7,611	7,946
心電図	3,523	3,677	4,115
その他	7,121	7,144	7,360

救急事故覚知別状況

覚知別	専用電話	加入電話	緊急通報	駆け付け	その他	合計
件数	7,712	633	53	72	633	9,103



医療資器材の使用件数



	血圧計	パルスオキシメーター	心電計
平成26年	7,490	7,728	3,523
平成27年	7,372	7,611	3,677
平成28年	7,676	7,946	4,115

救 助 出 動 状 況

	平成28年			平成27年			出動件数 増 減
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	
総 数	104	68	29	91	58	34	13
火 災	35	35		24	24	5	11
交通事故	27	12	12	27	12	13	
水難事故	6	3	3	4	4	4	2
風水害等 自然災害	1			1	1	1	
機械による 事故							
建物等による 事故	18	16	12	11	8	6	7
ガス及び 酸欠事故	2	1	1	1	1		1
爆発事故							
その他の 事故	15	1	1	23	8	5	△8

※ 出動件数とは、救助隊が救助を目的として出動した件数をいう。
 活動件数とは、救助隊が要救助者を救出するために活動した件数をいう。
 救助人員とは、救助隊により救出された人員をいう。

月別救助出動件数

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	出動	1	2	5	2	3	2	5	5		1	4	5	35
	活動	1	2	5	2	3	2	5	5		1	4	5	35
	救助人員													
交通	出動	2	2	1	1	3	4	2	2	3	5	1	1	27
	活動	1		1		1	2	2	2	1	2			12
	救助人員	1		1		1	2	2	2	1	2			12
水難	出動				2	1					1	1	1	6
	活動				1							1	1	3
	救助人員				1							1	1	3
自然災害	出動								1					1
	活動													
	救助人員													
機械	出動													
	活動													
	救助人員													
建物	出動		1		1	6	2		1		2	2	3	18
	活動		1		1	6	2		1		1	1	3	16
	救助人員		1			5	2		1		1		2	12
ガス	出動			2										2
	活動			1										1
	救助人員			1										1
爆発	出動													
	活動													
	救助人員													
その他	出動				3	1	1	2	1	2	3	1	1	15
	活動						1							1
	救助人員						1							1
合計	出動	3	5	8	9	14	9	9	10	5	12	9	11	104
	活動	2	3	7	4	10	7	7	8	1	4	6	9	68
	救助人員	1	1	2	1	6	5	2	3	1	3	1	3	29

事故種別発生場所別活動件数

事故種別 発生場所別		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	合計	
		建物	建物 以外										
屋 内	住 居	16						15	1			32	
	その他の屋内	14						1				15	
屋 外	道 路	高速自動車・国道											
		その他の道路		1	12							1	14
	水 面	内 水 面				3							3
		外 水 面											
	山 岳												
	その他の屋外	1	3										4
地 下													
そ の 他													
合 計		31	4	12	3			16	1		1	68	

※ 「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

事故種別出動車両等台数

事故種別 車 両 別		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	合計	
		建物	建物 以外										
出 動 車 両	救 助 工 作 車	32	4	27	7	1		18	2		15	106	
	消防ポンプ自動車	126	4	27	13	1		2	2		23	198	
	は し ご 車	6		1								7	
	化 学 車	13										13	
	指 揮 車	31	4	7	6				1		7	56	
	救 急 自 動 車	31	4	36	8			17	2		15	113	
	そ の 他	2			11								13
	消 防 団 車 両	107	2										109
合 計		348	18	98	45	2		37	7		60	615	

※ 事故種別ごとに、救助活動のために出動した車両の台数について記載。

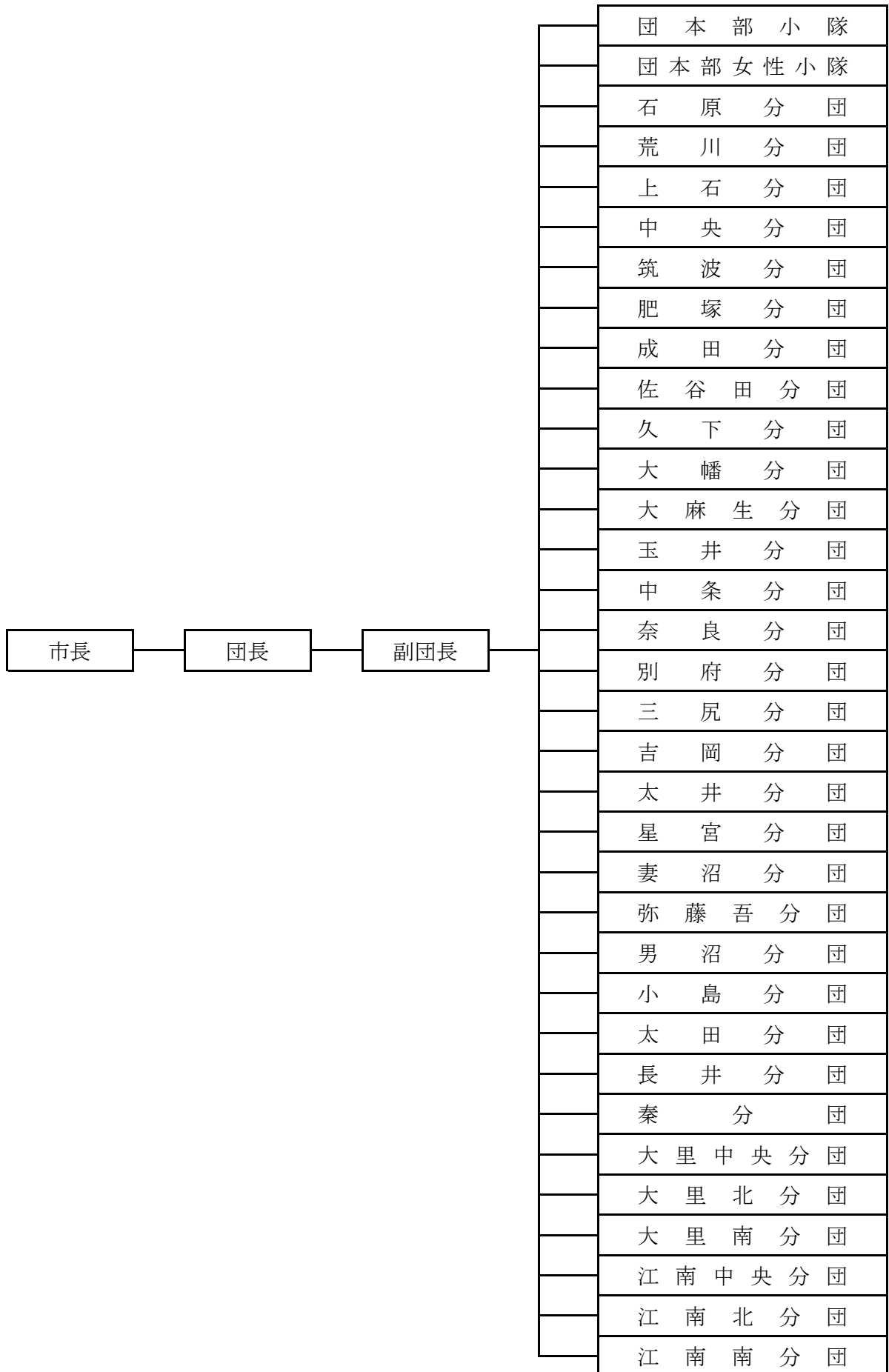
「火災」とは、救助隊及び消防隊が出動した火災の内、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

消 防 団



第29回埼玉県消防操法大会に出場した
熊谷市消防団第二中隊

消 防 団 組 織 表



消防団車庫一覽表

平成29年4月1日現在

分 団 名	所 在 地	構 造 等	延面積(m ²)	建築年月
団本部小隊	宮町一丁目121番地	車庫 鉄骨造平家建 待機室 木造平家建	18.00 26.50	S53.10 H2.3
石原分団	本石二丁目53番地	鉄骨造二階建	142.71	S48.12
荒川分団	宮前町一丁目106番地	鉄筋コンクリート造二階建	264.24	S36.8
上石分団	石原932番地	鉄筋コンクリート造二階建	75.19	S53.7
中央分団	宮町一丁目121番地	鉄筋コンクリート造二階建	47.02	S42.3
筑波分団	筑波一丁目69番地1	鉄筋コンクリート造二階建	244.49	S54.10
肥塚分団	肥塚一丁目2番15号	鉄筋コンクリート造平家建	74.39	S60.3
成田分団	上之806番地10	鉄筋コンクリート造平家建	87.99	S50.3
佐谷田分団	佐谷田371番地17	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	S59.3
久下分団	久下1430番地	鉄筋コンクリート造平家建	52.99	S49.3
大幡分団	代585番地1	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S48.3
大麻生分団	大麻生1097番地1	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S42.2
玉井分団	新堀319番地2	鉄筋コンクリート造二階建	玉井分署内	H3.3
中条分団	上中条814番地2	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	S59.3
奈良分団	下奈良561番地15	鉄筋コンクリート造平家建	〃	S57.3
別府分団	西別府2047番地	鉄筋コンクリート造平家建	73.27	S52.3
三尻分団	三ヶ尻2750番地2	鉄筋コンクリート造平家建	72.33	S54.8
吉岡分団	万吉2164番地	鉄筋コンクリート造平家建	71.78	H4.2
太井分団	太井1949番地1	鉄筋コンクリート造平家建	179.43	S55.3
星宮分団	下川上17番地2	鉄筋コンクリート造平家建	52.99	S45.3

分 団 名	所 在 地	構 造 等	延面積(m ²)	建築年月
妻 沼 分 団	妻沼1547番地3	鉄骨造平家建	87.19	H10.2
弥 藤 吾 分 団	弥藤吾1800番地3	鉄骨造平家建	72.90	H3.3
男 沼 分 団	男沼118番地1	鉄骨造平家建	72.90	H2.3
小 島 分 団	妻沼小島2357番地1	鉄筋コンクリート造平家建	58.32	S62.3
太 田 分 団	飯塚1395番地15	鉄骨造平家建	72.90	H1.3
長 井 分 団	江波363番地	鉄骨造平家建	72.90	H2.3
秦 分 団	葛和田1135番地3	鉄骨造平家建	72.90	H2.11
大里中央分団	中曾根643番地1	木造平家建	23.10	S63.3
大里北分団	中曾根232番地1	鉄骨造平家建	56.70	H9.3
大里南分団	相上1654番地7	鉄骨造平家建	56.70	H5.3
江南中央分団	江南中央一丁目1番地	鉄骨造平家建	61.20	H19.2
江南北分団	成沢465番地1	鉄骨造平家建	46.45	S61.3
江南南分団	小江川1931番地1	鉄骨造平家建	54.78	H2.3

消防ポンプ自動車等性能一覧表

平成29年4月1日現在

分団別	車種	車名・型式	機装会社	年度	使用年数	総排気量(CC)	ポンプ型式	備考
団本部 小隊	多機能車	イズズ BKG-NHS85A	(株)モリタ	H22	7	2,990	—	無線傍受機、小型動力ポンプ
団本部 女性小隊	広報車	ホンダ DBA-RG1	ホンダカーズ	H20	9	1,990	—	無線傍受機、カーナビ、 軽可搬ポンプ
石原分団	普通消防 ポンプ自動車	イズズ PB-NKR81N	(株)ネイチャー	H18	11	4,770	A-2級	CD-I型、無線傍受機
荒川分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK-XZU331M	日本エレ ファント	H12	17	4,897	A-2級	CD-I型、無線傍受機
上石分団	普通消防 ポンプ自動車	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	16	4,570	A-2級	CD-I型、無線傍受機
中央分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ TKG- XZU640M	(株)モリタ	H25	4	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
筑波分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H22	7	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
肥塚分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H21	8	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
成田分団	普通消防 ポンプ自動車	イズズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	9	2,990	A-2級	CD-I型、無線傍受機
佐谷田分団	普通消防 ポンプ自動車	イズズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	9	2,990	A-2級	CD-I型、無線傍受機
久下分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ TKG- XZU640M	(株)モリタ	H25	4	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
大幡分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H23	6	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
大麻生分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	6	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
玉井分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	6	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
中条分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ SKG- XZU640M	(株)モリタ	H23	6	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
奈良分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	14	5,240	A-2級	CD-I型、無線傍受機
別府分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	14	5,240	A-2級	CD-I型、無線傍受機

分 団 別	車 種	車名・型式	機装会社	年度	使用 年数	総排気量 (CC)	ポンプ 型式	備 考
三尻分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H14	15	5,240	A-2級	CD-I型、無線傍受機
吉岡分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ PB-NKR81N	小池 株式会社	H17	12	4,770	A-2級	CD-I型、無線傍受機
太井分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H23	6	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
星宮分団	普通消防 ポンプ自動車	トヨタ BDG-XZU334	(株)ナカムラ 消防化学	H23	6	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
妻沼分団	普通消防 ポンプ自動車	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	16	4,570	A-2級	CD-I型、無線傍受機
弥藤吾分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	9	2,990	A-2級	CD-I型、無線傍受機
男沼分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	14	5,240	A-2級	CD-I型、無線傍受機
小島分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ BKG-NLR85N	小池 株式会社	H20	9	2,990	A-2級	CD-I型、無線傍受機
太田分団	普通消防 ポンプ自動車	ニッサン KK-AKR71GN	日本エレ ファント	H13	16	4,570	A-2級	CD-I型、無線傍受機
長井分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK-XZU331M	日本エレ ファント	H12	17	4,897	A-2級	CD-I型、無線傍受機
秦分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FE73ECY	日本エレ ファント	H15	14	5,240	A-2級	CD-I型、無線傍受機
大里中央分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H22	7	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
大里北分団	普通消防 ポンプ自動車	三菱 KK-FG73ED	日本エレ ファント	H15	14	5,240	A-2級	CD-I型、無線傍受機
大里南分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ BDG- XZU334M	(株)モリタ	H22	7	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
江南中央分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ TKG- XZU640M	(株)モリタ	H25	4	4,000	A-2級	CD-I型、無線傍受機
江南北分団	普通消防 ポンプ自動車	ヒノ KK-XZU371M	日本エレ ファント	H12	17	4,897	A-2級	CD-I型、無線傍受機
江南南分団	普通消防 ポンプ自動車	イズ PB-NKR81N	小池 株式会社	H17	12	4,770	A-2級	CD-I型、無線傍受機

勤 続 年 数 状 況

平成29年4月1日現在

階級別 勤続年数別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	合 計
1 年 未 満						34	34
1 年 以 上 ～ 3 年 未 満					1	66	67
3 年 以 上 ～ 5 年 未 満					2	47	49
5 年 以 上 ～ 10 年 未 満			1	2	10	97	110
10 年 以 上 ～ 15 年 未 満			2	7	22	51	82
15 年 以 上 ～ 20 年 未 満			8	9	26	29	72
20 年 以 上 ～ 25 年 未 満		1	9	6	11	11	38
25 年 以 上 ～ 30 年 未 満		1	5	4	6	5	21
3 0 年 以 上	1	4	9	6	2	4	26
人 員 計	1	6	34	34	80	344	499
平 均 勤 続 年 数	42	33	24	21	16	7	11

年 齢 状 況

平成29年4月1日現在

階級別 年齢別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	班 長	団 員	合 計
2 0 歳 未 満						3	3
20 歳 以 上 ～ 25 歳 以 下						13	13
26 歳 以 上 ～ 30 歳 以 下						17	17
31 歳 以 上 ～ 35 歳 以 下			1	2	2	45	50
36 歳 以 上 ～ 40 歳 以 下			2	2	6	67	77
41 歳 以 上 ～ 45 歳 以 下			2	5	24	90	121
46 歳 以 上 ～ 50 歳 以 下			3	4	24	63	94
51 歳 以 上 ～ 55 歳 以 下		1	10	8	12	22	53
5 6 歳 以 上	1	5	16	13	12	24	71
人 員 計	1	6	34	34	80	344	499
平 均 年 令	68	63	54	52	48	42	45

消 防 年 報

発 行 平成29年6月刊行

編 集 熊谷市消防本部

〒360-0811

埼玉県熊谷市原島675番地1

電 話 (048) 501-0119

FAX (048) 521-1207

URL <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>